

快適に使用していただくために

取扱説明書

スタイルコートL

もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	7
3.ご使用にあたって	9
3-1 積雪に対する仕様について	9
3-2 シャッターご使用前の確認事項	10
3-3 リモコンのなまえとはたらき	11
3-4 操作のしかた	12
3-5 追加リモコン(オプション)の登録・登録解除	14
3-6 リモコンカバーの取外し方・取付け方	16
3-7 異常表示の原因と解除のしかた	17
3-8 シャッターの上下限位置の設定のしかた	19
3-9 停電時開閉機構の使い方	20
3-10 折戸パネルの使用法	22
3-11 折戸パネルのロック方法	23
3-12 上げ下げ窓の操作法(オプション)	24
3-13 網戸格子の脱着(オプション)	25
3-14 ご注意とお願い	26
4.スマートフォンアプリ「My Window」について	29
4-1 スマートフォンアプリ「My Window」のインストール	29
4-2 単機能リモコン、スマートフォンアプリ「My Window」でできること	30
4-3 シャッターの登録について	31
4-4 スマートフォンアプリ「My Window」の画面について	33
4-5 スマートフォンアプリ「My Window」の操作のしかた	35
4-6 スマートフォンアプリ「My Window」の操作画面の編集について	38
4-7 スマートフォンアプリ「My Window」の操作画面の編集について	41
5.動画一覧表	43
6.点検とお手入れ	44
6-1 シャッターの点検	44
6-2 プレッシャーリターンセンサーの作動点検	44
6-3 お手入れについて	45
7.修理を依頼する前に	48
8.修理	49
9.別売り品	49
10.仕様	50

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

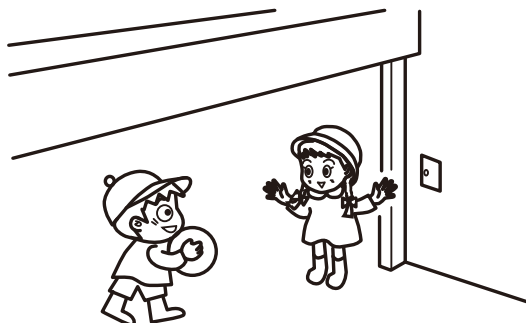
1 安全のために必ず守ってください

警告



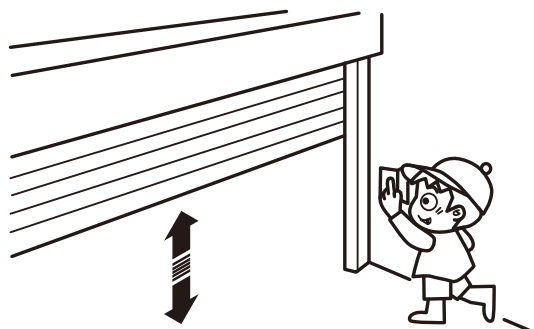
- 開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちにとめるボタンを押してシャッターを停止させ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 入出庫の際は、開くボタンを操作した後、シャッターが完全に上がりきったことを確認してください。シャッターが上がりきらないで入出庫した場合、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

警告



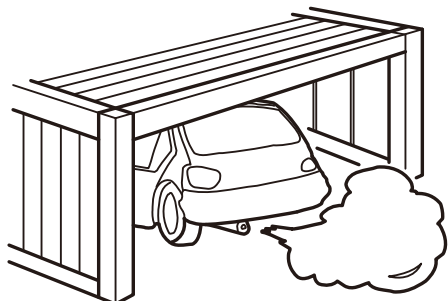
- シャッターの開閉位置付近でお子様を遊ばせないでください。誤ってシャッターを開閉し、はさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

警告



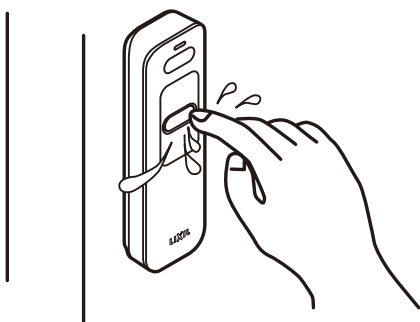
- 小さなお子様には単機能リモコンの操作はさせないでください。誤ってシャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

警告



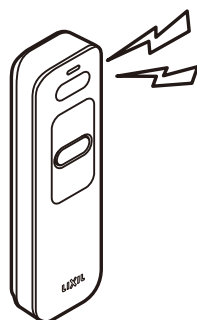
- 車のエンジンをかけるときは、シャッターをあげて換気をしてください。
また、石油ストーブなど燃焼排ガスを発生する器具は使用しないでください。排ガスによる中毒の危険性があります。

警告



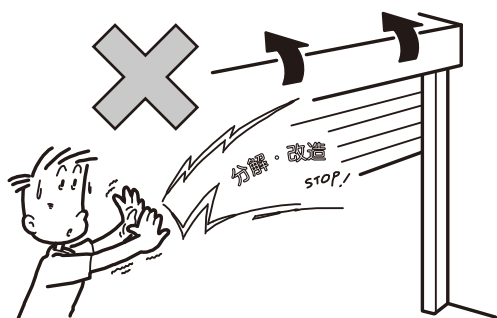
- 濡れた手で単機能リモコンの操作はしないでください。感電するおそれがあります。
また、単機能リモコンは直接日光の当たる場所や、高温・高湿の場所に置かないでください。

警告



- 単機能リモコンは電波を利用する機器ですので心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、念のため医療機器メーカーに相談してください。

警告



- シャッター本体のケースをあけて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になります。また、本体の改造はしないでください。特にモーターおよびスイッチの改造、配線の変更は事故・故障の原因になります。

警告



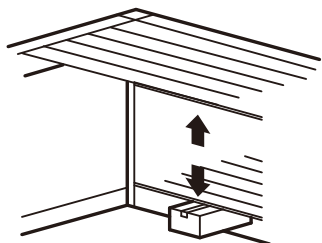
- 単機能リモコンで操作する場合は、開閉が終わるまでシャッターが見えるところから離れないでください。人や物があつた場合、シャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。
- 小さなお子様には単機能リモコンの操作はさせないでください。誤ってシャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

警告



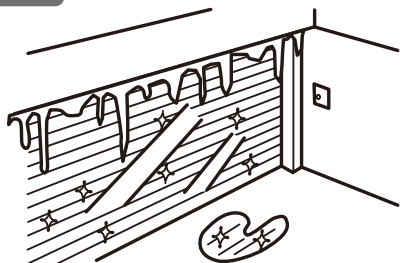
- 単機能リモコンをズボンの後ポケットなどに入れないでください。誤ってボタンを押してシャッターが動き、シャッターにはさまれるなど重大な事故になるおそれがあります。

注意



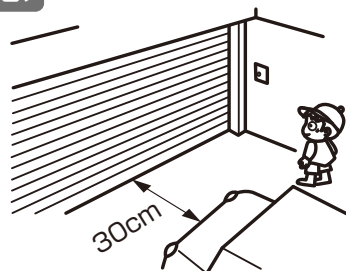
- プレッシャーリターンセンサーの点検時にシャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなど異常がありましたら、停止スイッチを押してただちにシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。

注意



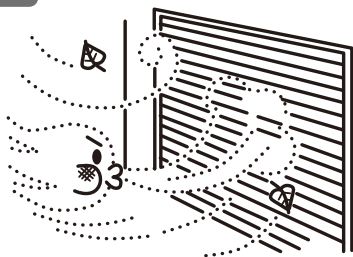
- シャッターが凍結した場合は、必ず溶けてから操作をしてください。無理な作動は故障や破損の原因になります。

注意



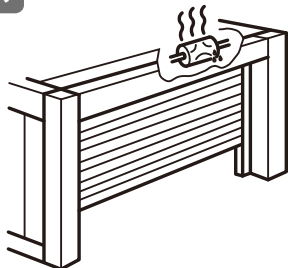
- 駐車および物を置く際は、シャッターより30cm離してください。構造上スラットのたわみが大きくなり、強風時には中に置かれた物との間にはさまれるおそれがあります。小さなお子様やお年寄りには特にご注意ください。

⚠ 注意



- 台風など強風時には無理にシャッターを操作しないでください。故障の原因になったり、急に強風が吹き込み転倒などケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- 短時間で繰り返し開閉しないでください。連続して操作すると、発熱防止の安全機能が働き電動による開閉ができなくなる場合があります。その場合は、10分～15分待って開閉操作をしてください。無用な連続操作はしないでください。故障の原因になります。

⚠ 注意



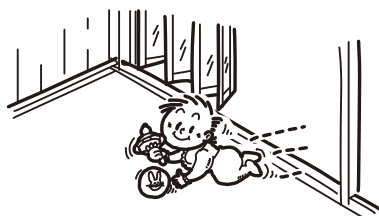
- 日中、日差しが強いときに、カセットコンロ用ボンベなどの高圧ガスを使用した可燃性製品は置かないでください。破裂してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



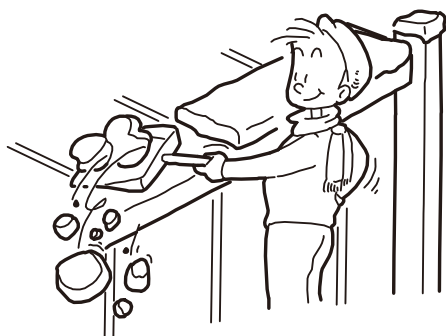
- 屋根の上に乗らないでください。また、重量物を載せたり、柱にぶらさがらないでください。落ちてケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- 乳幼児を1人で遊ばせないでください。日中、日差しが強いとき等、折戸パネルを閉じるとパネル内の温度が上がって危険です。また、下レールのつぎ目などでケガをするおそれがあります。

! 注意



●降雪時には雪おろしが必要です。屋根が雪の重さでつぶれ落ちてケガをするおそれがあります。雪おろしの指示は製品によって異なります。「3-1 積雪に対する仕様について」および柱に貼付けている、雪おろし注意シールにしたがって雪をおろしてください。

・積雪量は、積雪1cmあたり3kg/m²として算出しています。湿った雪ではこれより重くなる場合がありますので、早めに雪をおろしてください。

! 注意



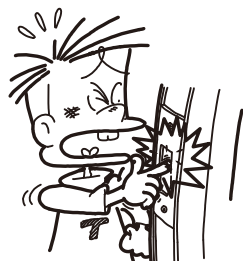
●折戸パネルに寄りかかったりしないでください。破損してケガをするおそれがあります。

! 注意



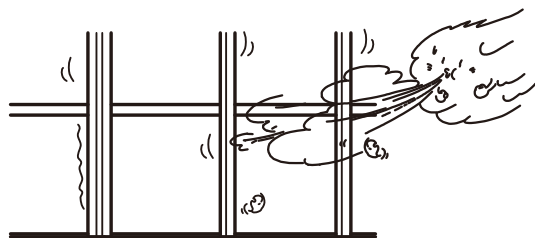
●折戸パネルを開閉しているとき、パネルとの間にはさまないように注意してください。

! 注意



●錠の受け金具（ストライク）の穴に指を入れないでください。指を切ったりケガをするおそれがあります。

! 注意



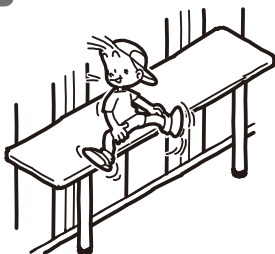
●台風など強風が吹くときは、折戸パネルを必ず全閉にしてロックしてください。パネルが破損したり、屋根材が飛んでケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- 上げ下げ窓を閉めるとき、下枠と窓の間に手や指などをはさまないように注意してください。

⚠ 注意



- カウンターテーブルや棚板に乗ったりぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。部材が変形・破損したりしてケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- カウンターテーブルに30kgを越える重い物を載せたり、吊るしたりしないでください。本体が落下したり、壊れてケガをするおそれがあります。
- 棚板に30kgを超える重い物を載せたり、吊るしたりしないでください。

⚠ 注意

- 日光が反射しやすい面材（パネルなど）をご使用の場合、面材のゆがみで太陽光が集光し、光の反射が強くなる場合があります。ごくまれに、反射光が当たった個所の状況や環境により、庭の植物や人工芝などの設置物に焦げ付きや溶融が生じることがありますのでご注意ください。

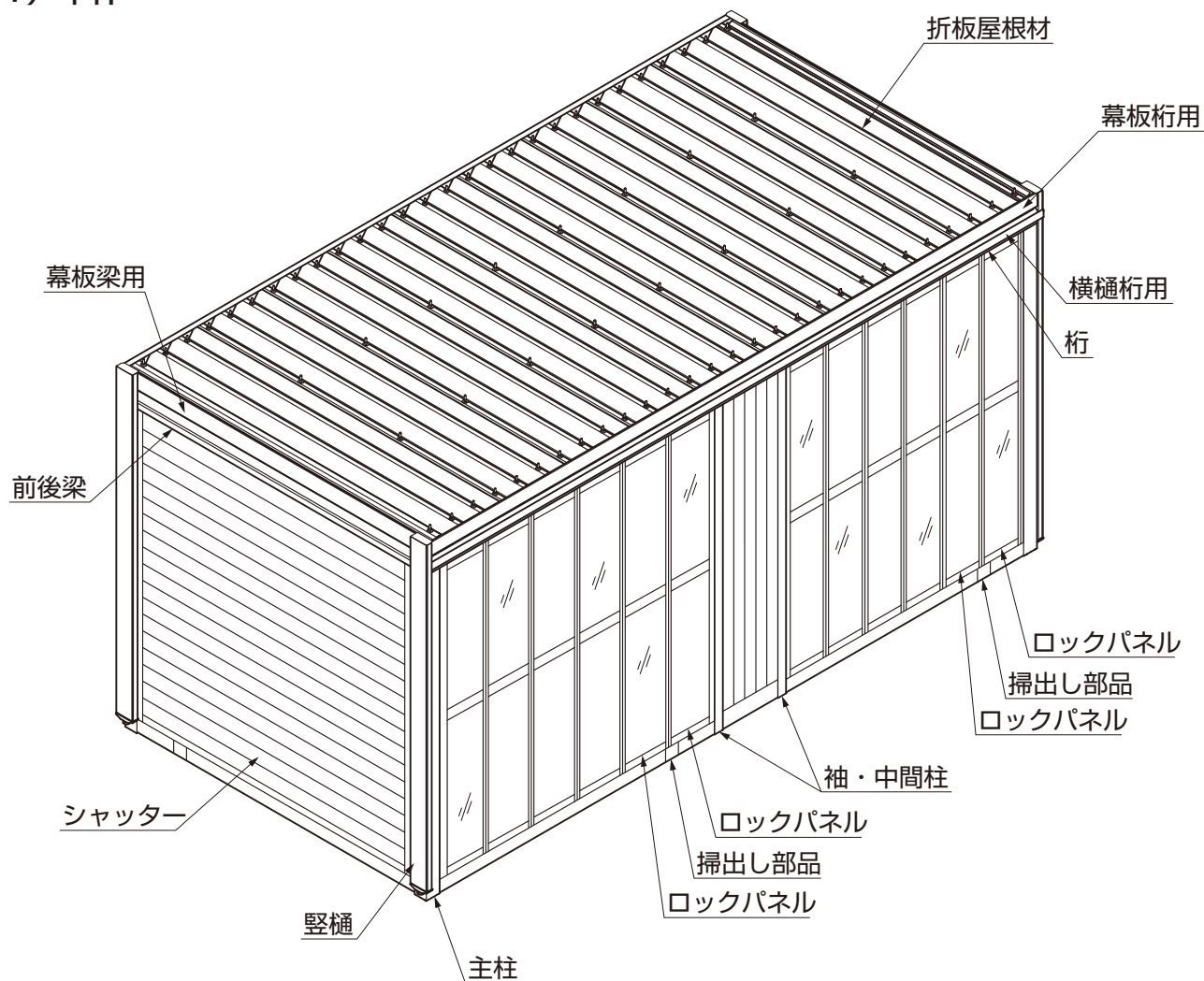
お願い

- スタイルコートLの中に入れた電気製品やソファ等、日当たりの良い場所では「日焼け」により、色あせ等を起こすことがありますので注意してください。
- スタイルコートLは屋内空間のような水密気密性能はありません。結露水が落水することもありますので、内部で使用するファニチャー・電気製品は性能を確認した上で使用してください。

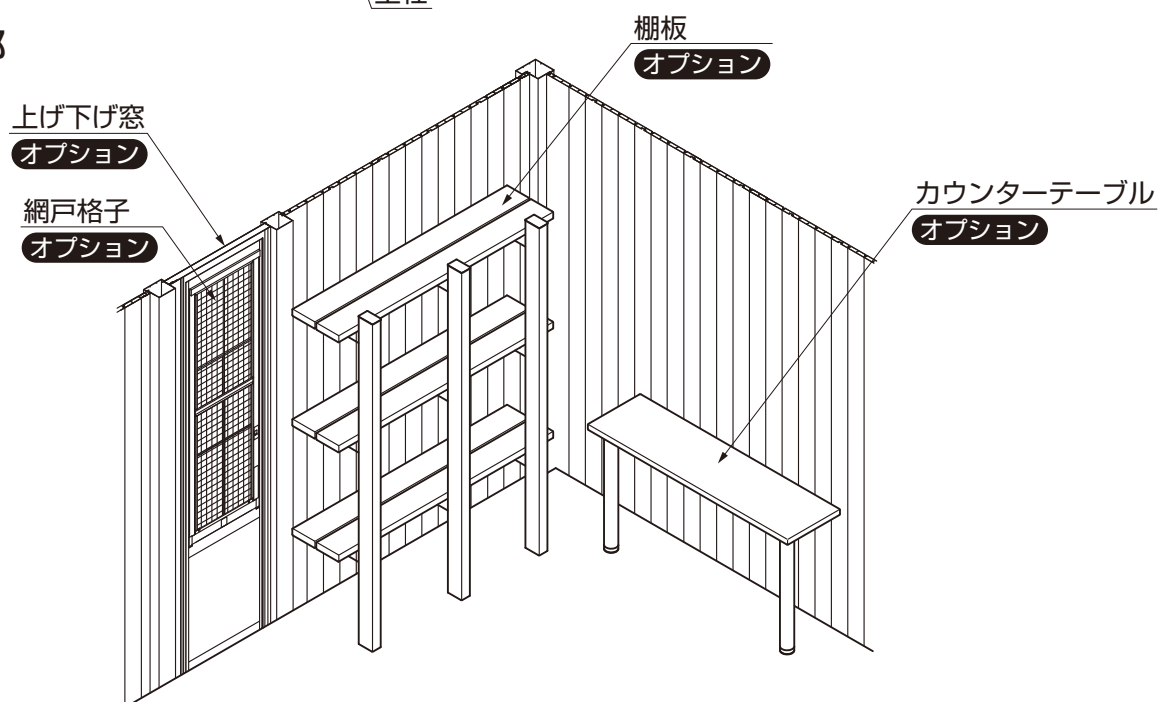
2 各部の名称

※図は28-54、32-60タイプ右勝手です。
他のタイプでも名称は同じです。

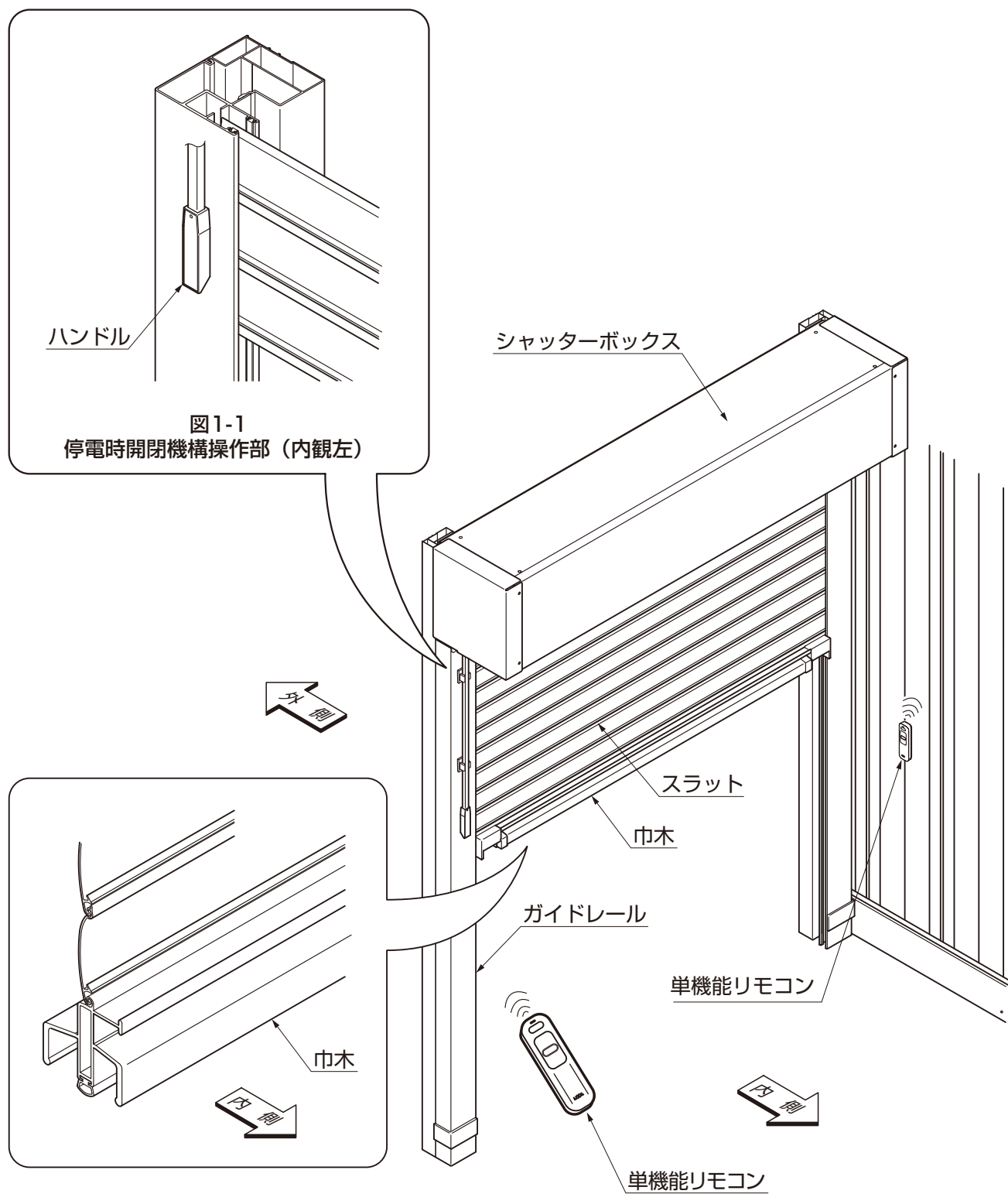
(1) 本体



(2) 内部



(3) シャッター部



3 ご使用にあたって

3-1 積雪に対する仕様について

⚠ 注意

- 表3-1の積雪量になる前に必ず雪おろしをしてください。屋根材が雪の重さでつぶれ落ちるおそれがあります。

お願い

- 製品により強度が異なりますので柱に貼付けている雪おろし注意シールにしたがって雪をおろしてください。
- 雪の重さは雪の状態によって大きく変化します。特に春先の雪は新雪に比べ重くなりますので表3-1の積雪量の目安よりも早めに雪おろしをしてください。
- 雪おろしの際、雪はできるだけ残さないようにしてください。残った雪が氷状になり、たいへん重くなります。
- 雪おろしの際、絶対に水をかけないでください。雪が氷状になり、さらに重くなります。
- 雪おろしの際、金属製スコップ等を使用すると屋根材が割れたり、キズ付く原因になります。プラスチック製スコップ等で静かに行なってください。

表3-1 耐積雪荷重と積雪量の目安

		雪の種類		
		新 雪	しまりゆき 締 雪	ざらめゆき 粗目雪
		・新しく降った粉状の雪 	・水分を含んだやや重い雪 ・降り積もって圧縮された雪 	・水分を含んで凍っていて粒の大きな雪 
		雪比重 0.3	雪比重 0.5	雪比重 0.7
耐積雪強度タイプ	耐積雪荷重	安心してお使いいただける積雪量の目安		
1500タイプ	1500N/m ² (153.0kgf/m ²)	50cm以下	30cm以下	21cm以下
3000タイプ (Sタイプ)	3000N/m ² (305.9kgf/m ²)	100cm以下	60cm以下	43cm以下

✎ 補 足

- 本製品は、表3-1の荷重に耐えられる設計になっています。
 - ・この性能は弊社で指定する施工指示（基礎の大きさ等）どおりに施工した場合に限ります。
 - ・設置する地域による積雪量の違いを想定し強度を分類して設計しています。
- 雪の種類は、「日本雪氷学会の分類名称」によります。
- スタイルコートLは、短期荷重に耐えられるように設計されています。積雪量が目安以下であれば常時積雪に耐えられます。

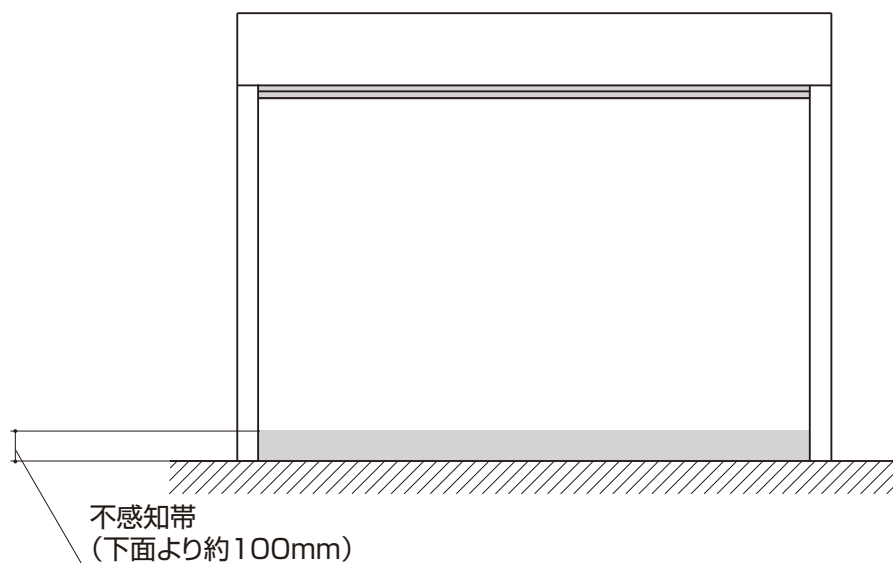
3-2 シャッターご使用前の確認事項

(1) プレッシャーリターンセンサーとは

- シャッター下降中、幅木が物を挟むと、シャッターは停止し、自動で反転上昇し全開します。この機構をプレッシャーリターンセンサーといいます。

お願い

- プレッシャーリターンセンサーは一定の負荷を検出して、停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出し反転するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取り除くと、スラットがずり落ちてくる場合がありますので、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてから障害物を取り除いてください。
- 開口の下部はプレッシャーリターンセンサーが感知できない範囲(不感知帯〔下面より100mm程度〕)が出る場合があります。この範囲に物がいないことを確認してから作動させてください。



⚠ 注意

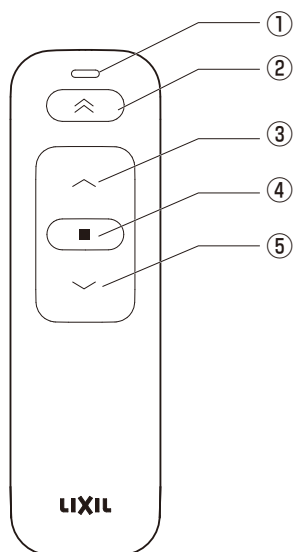
- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちにとめるボタンを押してシャッターを停止せ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてから取り除いてください。取り除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
負荷を検出させた場合は、必ず上限もしくは下限まで作動させてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

3-3 リモコンのなまえとはたらき

注意

- 「シャッター」は電波を利用する機器です。リモコンを植込み型医療機器に近づけないでください。（医療機器の正常な作動を損なうおそれがあります。）植込み型医療機器の取扱説明書または担当医師に確認してください。

(1) 単機能リモコン



番 号	なまえ	はたらき
①	操作反応LED	・送信時に緑点灯します。 ・異常時に赤点滅します。
②	メモリ位置操作ボタン	・メモリ位置操作に使用します。
④	ひらくボタン	・シャッターが上昇します。
⑤	とめるボタン	・シャッターが途中停止します。
⑥	とじるボタン	・シャッターが下降します。

※付属の電池は短期間で消耗することがあります。
 ※交換する電池は、単4型アルカリ乾電池（2本）を使用してください。
 ※電池交換後は操作反応LEDが2回緑点滅するまでお待ちください。（約10秒）2回緑点滅するまで操作出来ません。

(2) 操作するときの表示

■操作するときの表示

開・閉・メモリ位置 操作ボタン	送信している間 緑点灯								
停止ボタン	送信している間 緑点灯			5秒経過で設定モードに移行する(ゆっくり緑点灯)					

■お知らせするときの表示

電池低下時	早い緑点滅で2秒間点滅する								
過負荷反転時	早い赤点滅を繰り返す(反動操作が終わるまで、もしくは解除されるまで継続)								
モータ故障時	赤点滅を10回繰り返す								
受信機との通信不可時	2秒間緑点灯後赤点灯								
ベアリング未設定時	ゆっくり赤点滅(3回点滅)								

■メモリ位置登録時の表示

登録モード状態	ゆっくり緑点滅								
メモリボタン	早い緑点滅で3秒間点滅する								

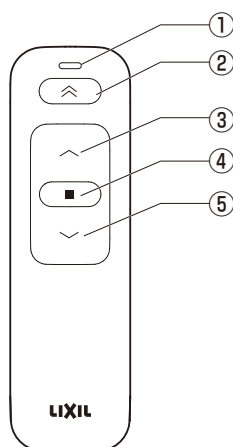
※負荷反転時などの異常表示の原因と対処のしかたについてはP.17～18を参照してください。

3-4 操作のしかた

⚠ 注意

- 開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちにとめるボタンを押してシャッターを停止させ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてから取り除いてください。取り除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
- 負荷を検出させた場合は、必ず上限もしくは下限まで作動させてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

(1) 単機能リモコンの操作のしかた



番号	なまえ
①	操作反応LED
②	メモリ位置操作ボタン
③	ひらくボタン
④	とめるボタン
⑤	とじるボタン

【開ける場合】

- ひらくボタン③を押してください。
シャッターが上昇します。
送信中は操作反応LED①が緑点灯します。

【閉める場合】

- とじるボタン⑤を押してください。
シャッターが下降します。
送信中は操作反応LED①が緑点灯します。

【途中で止める場合】

- とめるボタン④を押してください。
シャッターが途中停止します。
送信中は操作反応LED①が緑点灯します。

【メモリ位置まで作動させる場合】

- メモリ位置操作ボタン②を押してください。
設定された位置まで作動します。
初期は上限に設定されています。
送信中は操作反応LED①が緑点灯します。

お願い

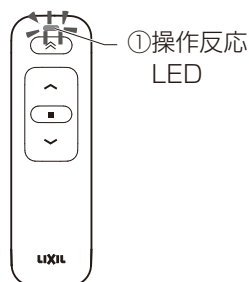
- 電波が届いていない場合、ボタン操作後、操作反応LEDが緑点灯後、赤点灯に変わります。その場合は電波の届く位置までシャッターに近づいて操作してください。

※通常、ひらくボタンやとじるボタンを一度押すとシャッターが動き出します。ひらくボタンやとじるボタンを押し続けて動く場合は、シャッターの上下限位置の設定がされていない可能性がありますので、「シャッターの上下限位置の設定のしかた」にそって設定してください。

(2) リモコンの電池消耗時の表示について

- 電池消耗時の表示が出た場合は、すみやかに新品の電池と交換してください。(同梱されている電池は、短期間で消耗することがあります。)リモコンカバーがついている単機能リモコンの場合は、カバーを外してから交換してください。リモコンカバーの取り外し方についてはP.16「リモコンカバーの取外し方」を参照してください。

操作ボタンを押した時に、操作反応LED①が早い緑点滅をします。



単機能リモコンで使用する電池は単4型アルカリ乾電池(2本)です。



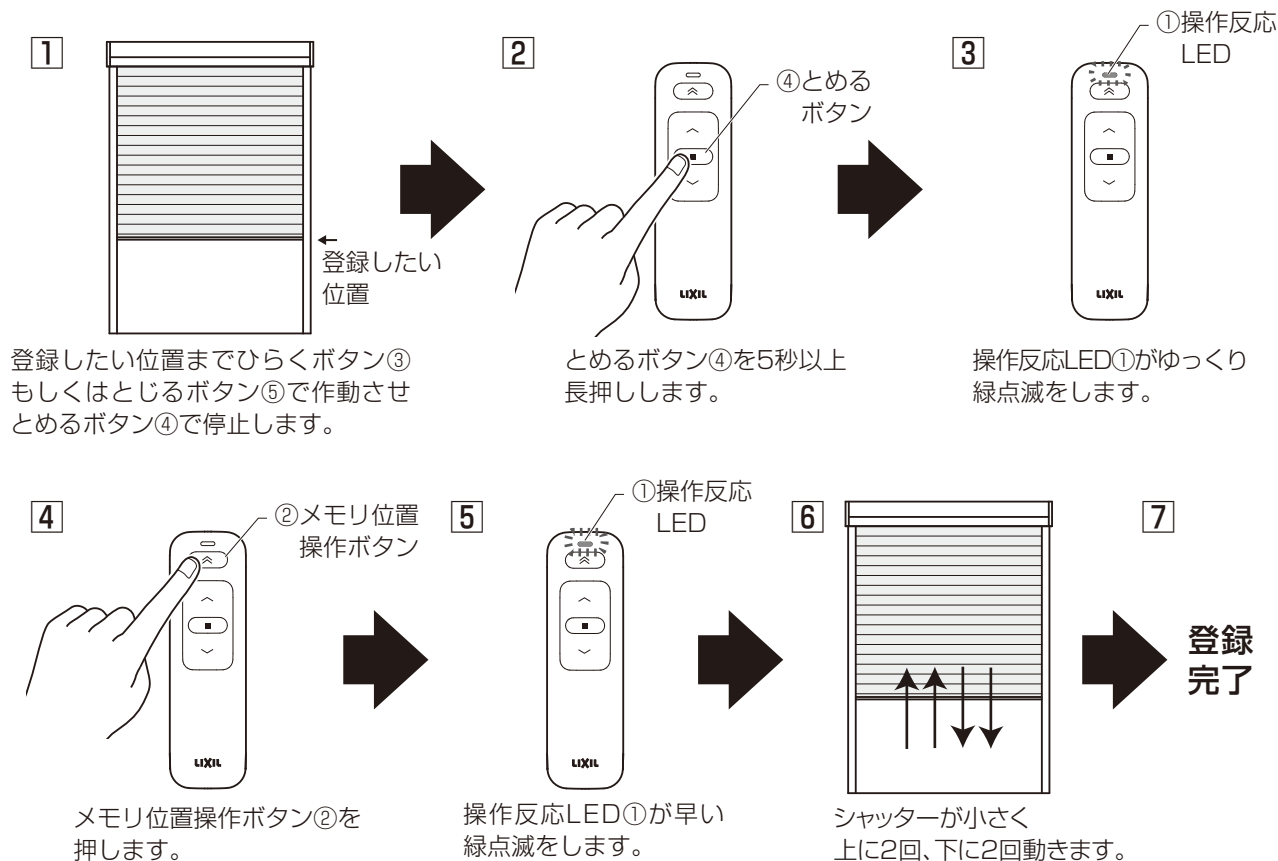
※0℃を下回る環境でご使用の場合には、リチウム電池等の寒さに強い電池をおすすめします。

(3) メモリ位置登録のしかた

※メモリ位置操作とは、任意の停止位置に設定することにより、ワンタッチで設定した位置にすることができます。

※出荷時 メモリ位置は全開状態になっています。

■操作方法



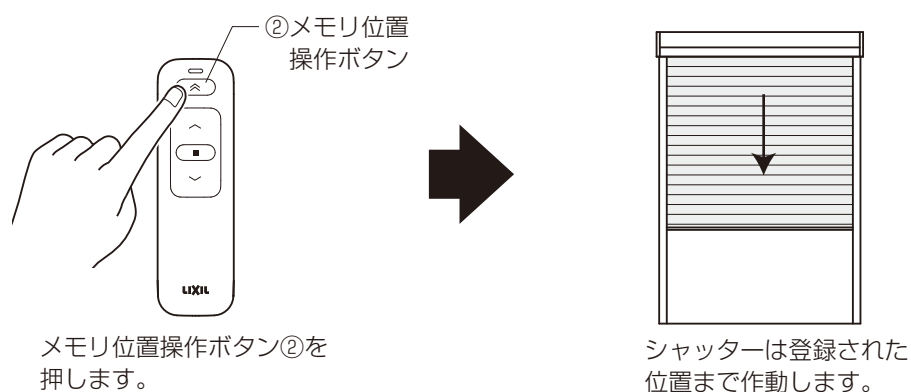
(4) メモリ位置操作のしかた

■操作方法

メモリ位置操作ボタン②を押してください。

現在の位置から登録した位置まで作動します。

出荷時のメモリ位置は全開状態になっています。



3-5 追加リモコン(オプション)の登録・登録解除

(1) 追加リモコンの登録方法

- オプションの「追加リモコン」は、リモコン1個で複数台のシャッターを同時に操作するリモコンです。電波の届く範囲で10台まで登録できます。
- ※必ずシャッター1台ずつ登録を行ってください。
- ※1台のシャッターにはリモコンを最大4個まで登録できます。

お願い

- シャッターに同梱されている付属の「単機能リモコン」を複数台のシャッターに登録することは絶対におやめください。シャッター「全開/全閉」位置の調整、メモリ位置設定、停電時開閉機構使用後の復帰操作ができなくなります。これはシャッター1台ずつのメンテナンスができなくなることやリモコン、スマートフォンの追加登録する場合に登録したいシャッターを選択して登録できなくなることなど防止しています。

■追加リモコンを登録する方法

- ①付属のリモコンと追加登録したいリモコンを準備します。

- ②付属のリモコンの電池フタを開け、左側「ペアリングボタン」を10秒以上押します。ペアリングボタンを押してから5秒経過後と、10秒経過後にシャッターが小さく上に2回、下に2回作動します。10秒経過後の2回目の作動でペアリングボタンを離してください。シャッターがペアリングモードに入ります。指を離すと再度シャッターが小さく上に2回、下に2回動きます。ペアリング完了時、もしくはペアリング信号を2分間受信しない場合は通常モードへ移行します。

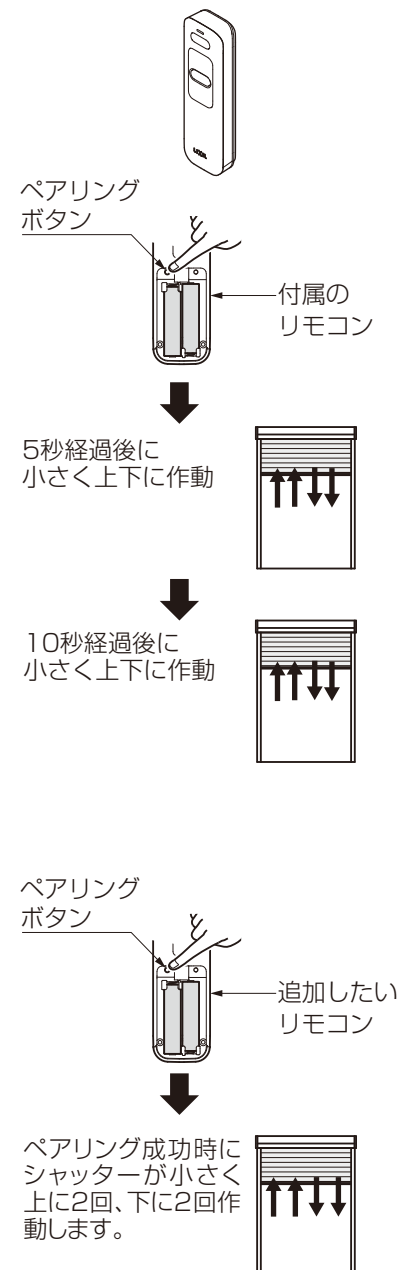
補足

- 10秒経過しないうちにペアリングボタンを離してしまった時は、2分経過してから再度行なってください。
- シャッターが小さく上に2回、下に2回動いたことを確認し、ペアリングボタンから指を離してください。
- シャッターが小さく上に2回動く前に、ペアリングボタンから指を離してしまった場合は、30秒以上待ち、はじめからやり直してください。
- シャッターが小さく上に2回動いている最中にペアリングボタンから指を離してしまった場合は下に2回動く動作を行わない場合がありますが、登録は可能ですので作業を進めてください。
- ペアリングボタンを押す時に、表のボタンを押さないようにしてください。ペアリングができなくなってしまうます。

- ③追加登録したいリモコンの電池フタを開け、ペアリングボタンを1回押します。ペアリングが成功するとシャッターが小さく上に2回、下に2回作動します。

動画 (QRコード)

- 追加リモコンの登録

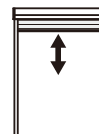


(2) 追加リモコンの登録解除方法

※リモコンの登録解除は、リモコン、シャッター両方の登録解除を行います。付属のリモコンの登録解除は行わないでください。メンテナンスなどができなくなります。電波が届かない場所で行うと、リモコンの登録情報のみ解除され、シャッターには登録情報が残ってしまいます。登録解除を行うまえに、リモコンでシャッターが操作できるか確認してください。単機能リモコンは登録されているシャッターが一斉に解除されます。

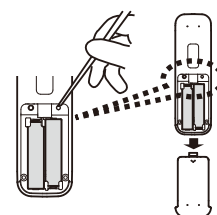
■追加リモコンの登録解除方法

- ①登録を解除したい追加リモコンでシャッターが作動するか確認します。
(電波が届いているか確認します。)



- ②単機能リモコンの電池フタを開け、右側の「設定ボタン」を3秒以上押します。

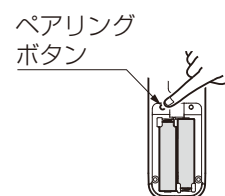
※指では押せないため、先の細い物で押してください。



- ③操作反応LED①がゆっくり緑点滅します。

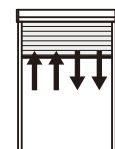


- ④単機能リモコンの電池ケース内、左側の「ペアリングボタン」を1回押します。



- ⑤シャッターが小さく上に2回、下に2回動き単機能リモコン、シャッター両方の登録が解除完了します。

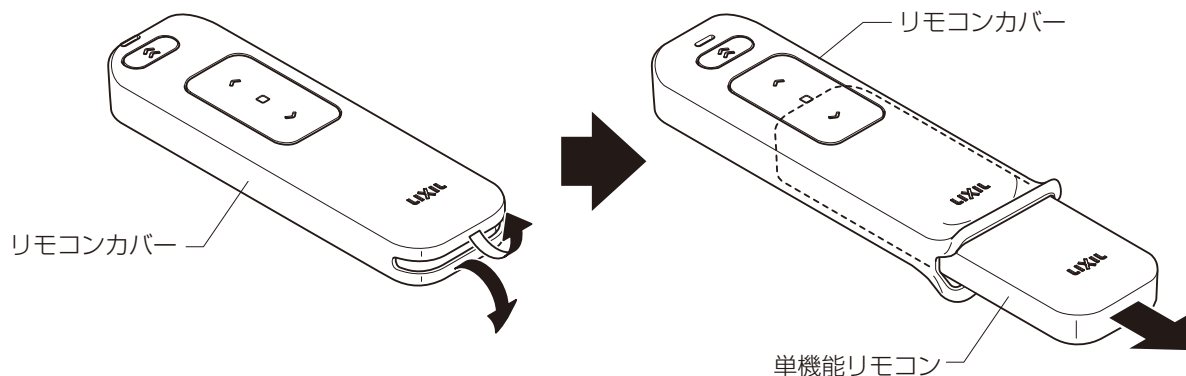
※登録されているシャッターすべてが解除されます。



3-6 リモコンカバーの取外し方・取付け方

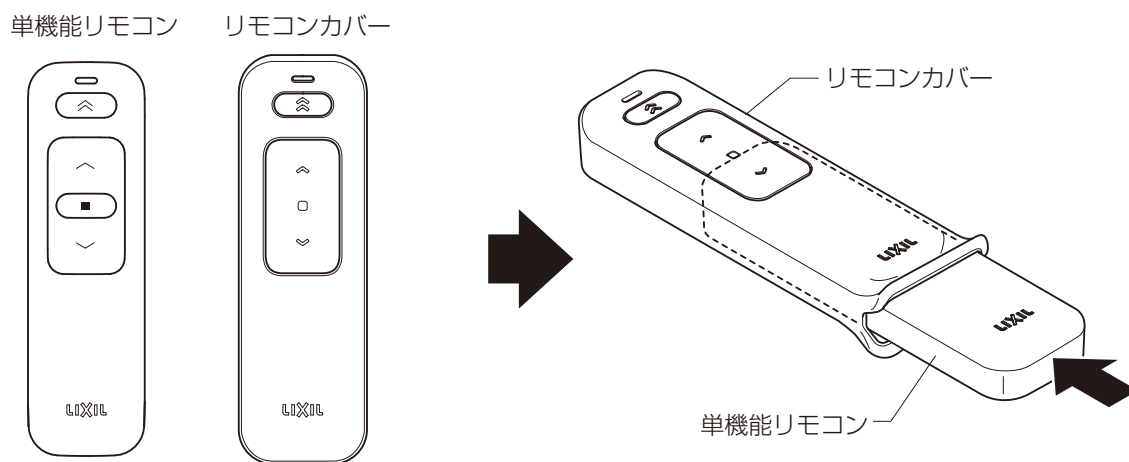
(1) 「リモコンカバー」の取外し方

- リモコンカバーの下面を広げて、リモコンを引っ張り出してください。



(2) 「リモコンカバー」の取付け方

- ①単機能リモコンとリモコンカバーの向きを確認し、リモコンカバーの下面を広げて単機能リモコンを押し込んでください。



- ②リモコンカバーの上からボタンを押して、単機能リモコンのボタンを押せることを確認してください。

3-7 異常表示の原因と解除のしかた

※異常を感知した場合、異常表示(操作反応LED:赤点滅)が出ます。ここでは、異常表示の原因と解除のしかたを説明します。

(1) 異常表示

■異常が表示されるのは以下の原因が考えられます。(故障ではありません)

(1)シャッター下降中に、幅木が異物(人・物など)を感知した場合

→シャッターはただちに停止し、自動的に上昇して全開で停止します。

シャッター周辺に異物(人・物など)がないか確認し、取除いてください。

全開まで作動した後、異常表示は消えます。

強風時に閉動作し反転上昇してしまう場合は、とじるボタンでシャッターを下降させ反転上昇した際にとじるボタンを押し続けてください。

押し続けの作動となり強風時でも下降させることができます。とじるボタンを離すとシャッターは停止し、その後はワンタッチで操作可能です。

※反転上昇中にとめるボタンを押してシャッターを停止させた場合、次の操作はとじるボタンを押してもシャッターが開方向へ作動します。そのまま全開まで作動させることで正常に復帰します。

■異常は表示されませんが停止します。(故障ではありません)

(1)シャッター上昇中に幅木にぶら下がった場合

→シャッターはその場で停止します。

シャッターにはぶら下がらないでください。

復帰させるには閉方向に作動させてください。全閉位置から反転し、ゆっくり全開まで作動した後に復帰します。

■異常が表示されます。(故障ではありません)

(1)手動開閉状態でリモコンで操作して約90秒モーターを連続作動させた場合

→約90秒後に異常点滅します。リモコンのとめるボタンで異常を解除してから操作ハンドルを引いて電動開閉に戻して 全開もしくは全閉にしてください。

(2)シャッター作動中に極度の電圧変動が発生した場合

→停止もしくは反転上昇する場合があります。

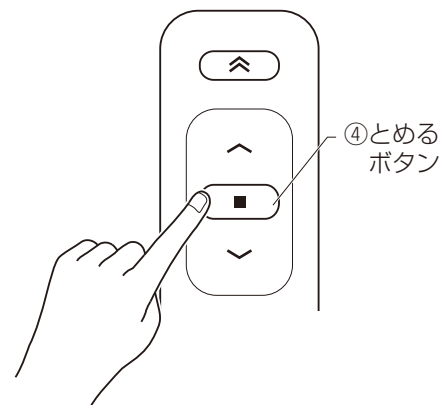
※停止状態の場合、もしくは反転上昇中にとめるボタンで停止させた場合、次の操作はとじるボタンを押しても開方向へ作動します。そのまま全開まで作動させることで正常に復帰します。

■異常表示の解除のしかた

●とめるボタン④を押してください。

異常の表示を解除します。

※とめるボタンを押して異常表示が消えない場合は数秒待ち再度とめるボタンを押してください。



(2) 停電復帰

- 開閉中に停電した場合、シャッターはその位置で停止します。

停電復帰後に、全開まで作動させてください。

※停電復帰操作の際には周囲に人・物がないことを確かめてから操作してください。

※停電復帰後は一時的にシャッターの開スピードがゆっくりになりますので、あらかじめご了承ください。

全開位置まで作動した後は、通常のスPEEDに戻ります。

※停電復帰後は、とじるボタンを押してもシャッターが開方向へ作動します。そのまま全開まで作動させることで正常に復帰します。

■シャッターが全開状態の場合

- 全開状態の時に、開方向へ作動させた場合、全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向作動し停止します。

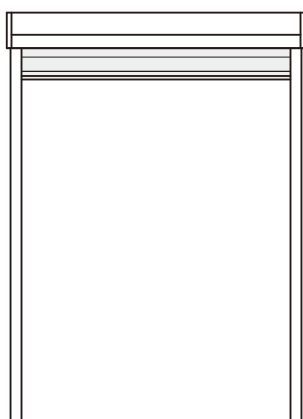
■シャッターが途中で停止している場合

- 開方向へ作動させた場合、全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。

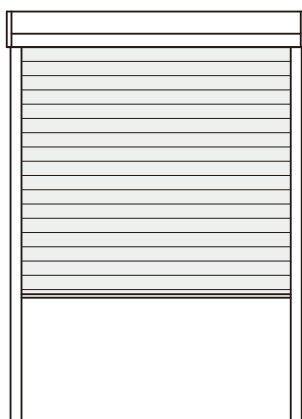
■シャッターが全閉状態の場合

- 開方向へ作動させた場合、全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。

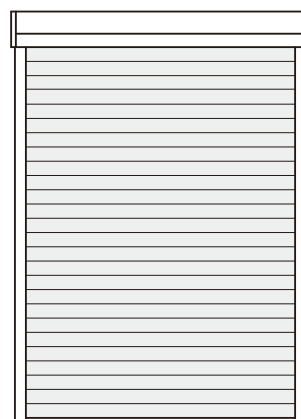
■シャッターが全開状態
の場合



■シャッターが途中で
停止している場合



■シャッターが全閉状態
の場合



※停電復帰後に全閉にすると、幅木と下面にすき間ができる場合があります。その場合は1往復(全開→全閉)を行ってください。それでも直らない場合は、P.19「シャッターの上下限位置の設定のしかた」にしたがって設定してください。

3-8 シャッターの上下限位置の設定のしかた

※ここでは、シャッターがワンタッチ開/閉できない場合やシャッターのスラットが途中で止まってしまう場合の設定のしかたを説明します。

(1) シャッター停止位置設定のしかた

■スラット（全開・全閉）停止位置設定のしかた

- シャッターがワンタッチ開/閉できない場合や、シャッターのスラットが途中で止まってしまう場合には以下の操作を行ってください。

※追加リモコンでは設定ができませんので、製品に付属されていたリモコンを使って設定してください。

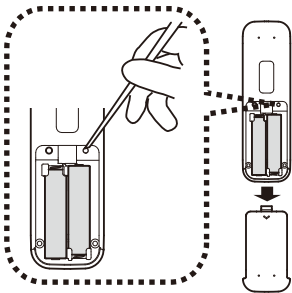
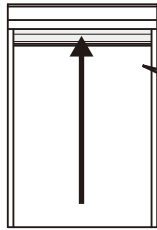
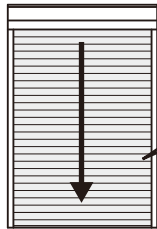
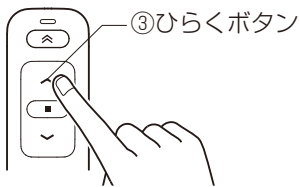
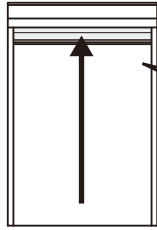
※スラットはどの位置でも上下限設定が可能です。

全開状態

途中停止状態

全閉状態



操作内容	備考
①リモコンの電池フタを開け、右側の設定ボタンを1回押してください。 	・指では押せませんので先の細いもので押してください。 ・左側の「ペアリングボタン」は押さないでください。押してしまった場合は、2分以上待ってから再度「設定ボタン」を押してください。
②自動でシャッターが開動作を行います。 お願い ●自動動作中はシャッター、リモコンなどに手などが触れないようにしてください。	 自動で開
③全開後、自動でシャッターが閉動作を行います。	 自動で閉
④リモコンのひらくボタンを押してください。 ワンタッチで全開位置まで作動すれば設定は完了です。  ③ひらくボタン	 開

3-9 停電時開閉機構の使い方

※ここでは手動での開閉のしかたについて説明しています。

(1) 停電時開閉機構とは

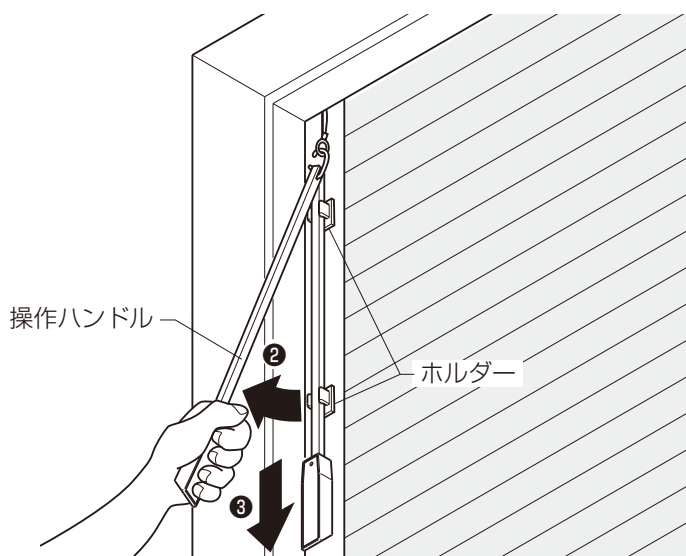
※スタイルコートの手シャッターは電動式シャッターですが、手動でも開け閉めできます。

お願い

- 非常時にも必ず開閉できるよう、「開閉のしかた」にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。

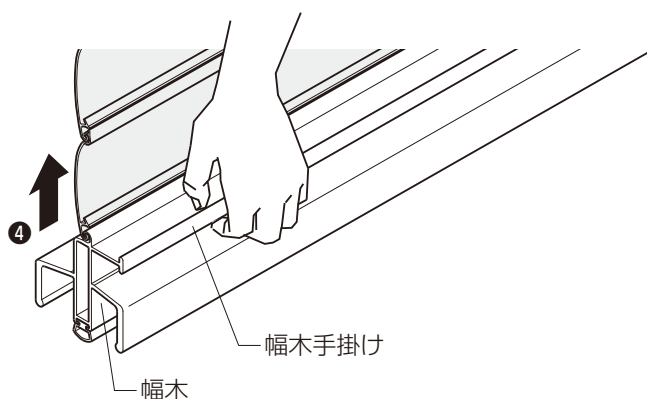
(2) 開閉のしかた

- ①シャッターの電源ブレーカーを落としてください。
- ②操作ハンドルをホルダーから外してください。
- ③操作ハンドルを下方に引いてください。
(約20mm引くと切り替えができます。)
(操作ハンドルを下方に引くとスラットが巻き上がり大きな音が発生する場合がありますが、故障ではありません)



- ④そのまま幅木の手掛けを持ち上げ、シャッターを開けます。

※電動操作への復帰は、P.21「電動復帰のしかた」を参照して、復帰操作をしてください。



⚠ 注意

- 開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

※ここでは電動復帰について説明しています。

(3) 電動復帰のしかた

●停電時開閉機構を使った場合、以下の操作にて電動復帰を行ってください。

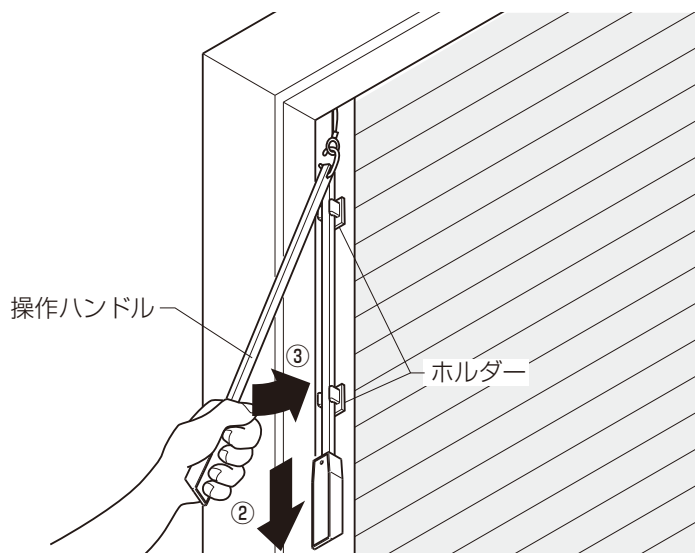
①電源ブレーカーを入れてください。

②操作ハンドルを下方に引いてください。電動開閉に戻ります。

(約20mm引くと切り替えができます。)

※幅木の手掛けを持ち上げシャッターが開け閉めできないことを確認してください。

③操作ハンドルをホルダーに固定してください。



■停電時に停電時開閉機構を使用した場合

全開まで作動させてください。

●開方向へ作動させた場合、全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。

※停電復帰後は、とじるボタンを押しても開方向へ作動します。そのまま全開まで作動させることで正常に復帰します。

■通電中に停電時開閉機構を使用した場合

全開もしくは全閉まで作動させてください。

全閉位置もしくは途中位置で反転上昇する場合、そのまま全開まで作動させてください。

●開方向に作動させた時に全開までいかに停止する場合があります。その場合は閉方向に作動させてください。

全閉時にシャッターがたわんだ後に反転し、ゆっくり全開まで作動します。

●閉方向に作動させた時に全閉までいかに停止する場合があります。その場合は開方向に作動させてください。

全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。

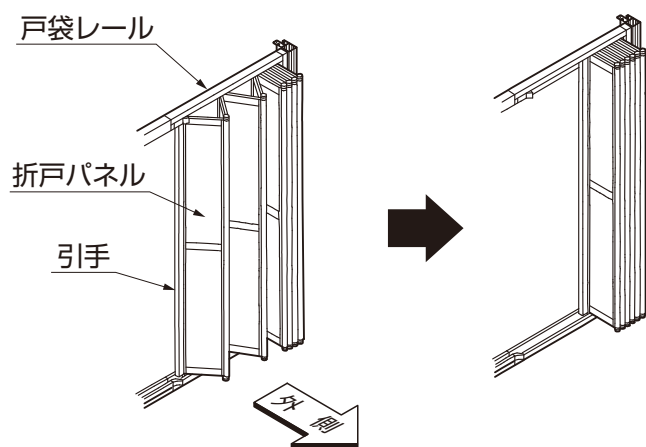
次の閉動作で全閉まで作動します。

※全閉にすると、幅木と下面にすき間ができる場合があります。その場合は1往復(全開→全閉)を行ってください。

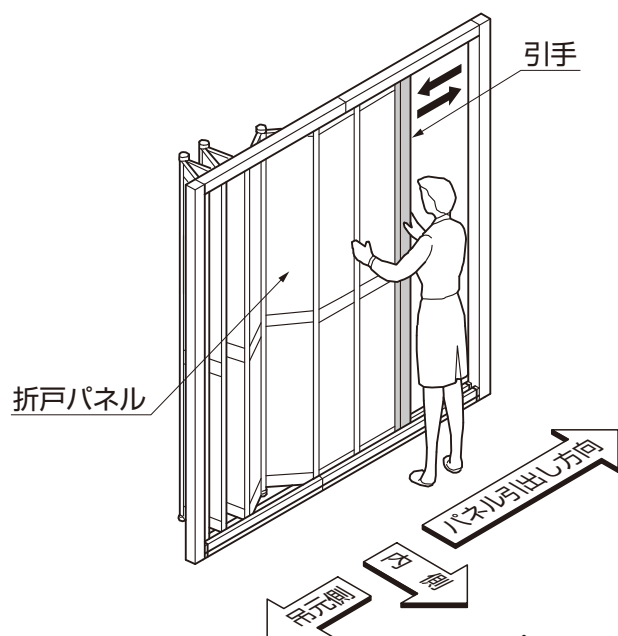
それでも直らない場合は、P.19「シャッターの上下限位置の設定のしかた」にしたがって設定してください。

※停電復帰後は一時的にシャッターの開スピードがゆっくりになりますので、あらかじめご了承ください。全開位置まで作動した後は、通常のスピードに戻ります。

3-10 折戸パネルの使用法



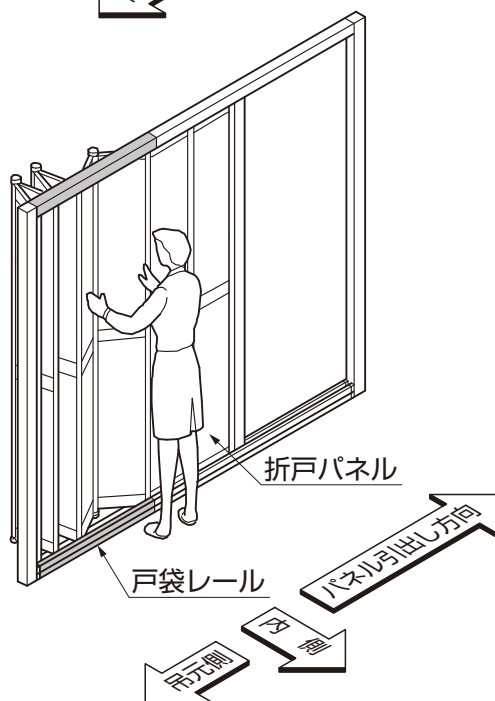
①折戸パネルを折りたたみます。



②折戸パネルの引手部を持って、開閉します。

お願い

- 折戸パネルを折りたたみきっていないと、パネルを引き出すことができません。無理に開閉すると破損の原因になります。

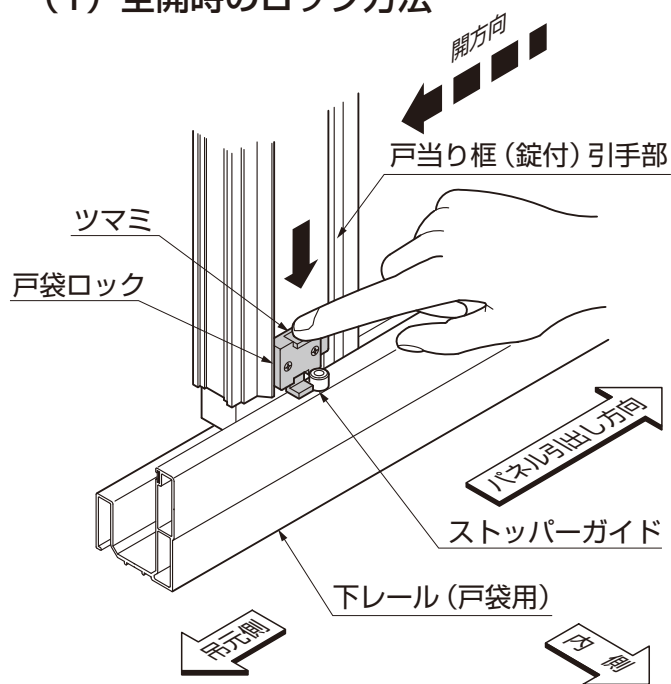


補足

- 風の抵抗が強く、折戸パネルを開閉しにくい時は、戸袋レール部で操作するとスムーズに開閉できます。

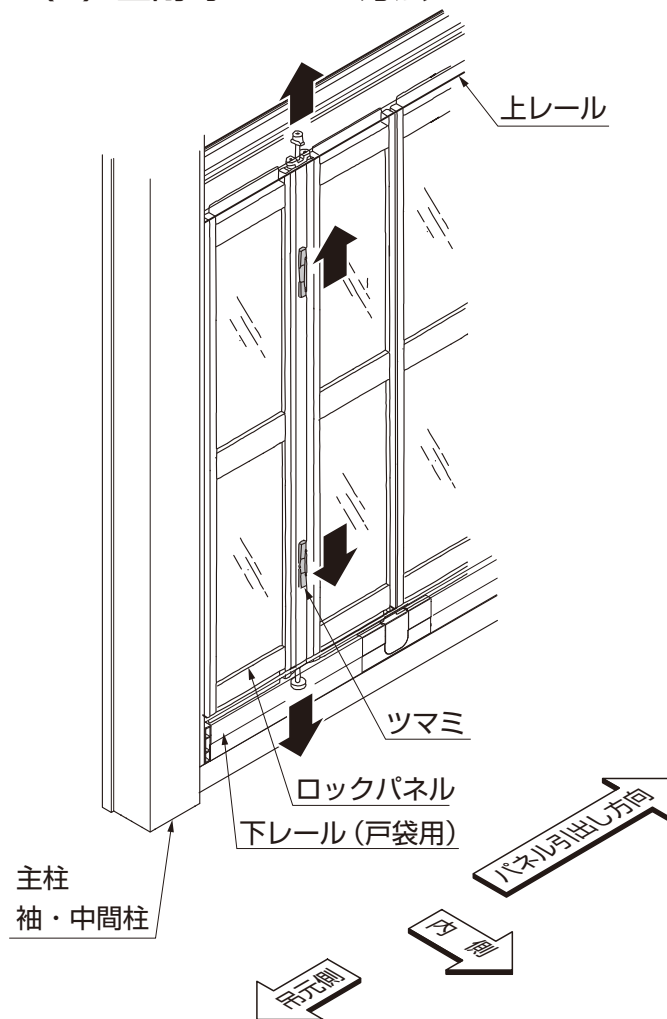
3-11 折戸パネルのロック方法

(1) 全開時のロック方法



- ① 戸当り框 (錠付) の引手部の下部に付いている戸袋ロックのツマミを、ストッパーガイドに落とし込みます。

(2) 全閉時のロック方法



- ① ロックパネルの上下に付いているツマミを、上下に移動してロックします。
- ・ ロックパネル上部のツマミを上げるとロックします。
 - ・ ロックパネル下部のツマミを下げるとロックします。

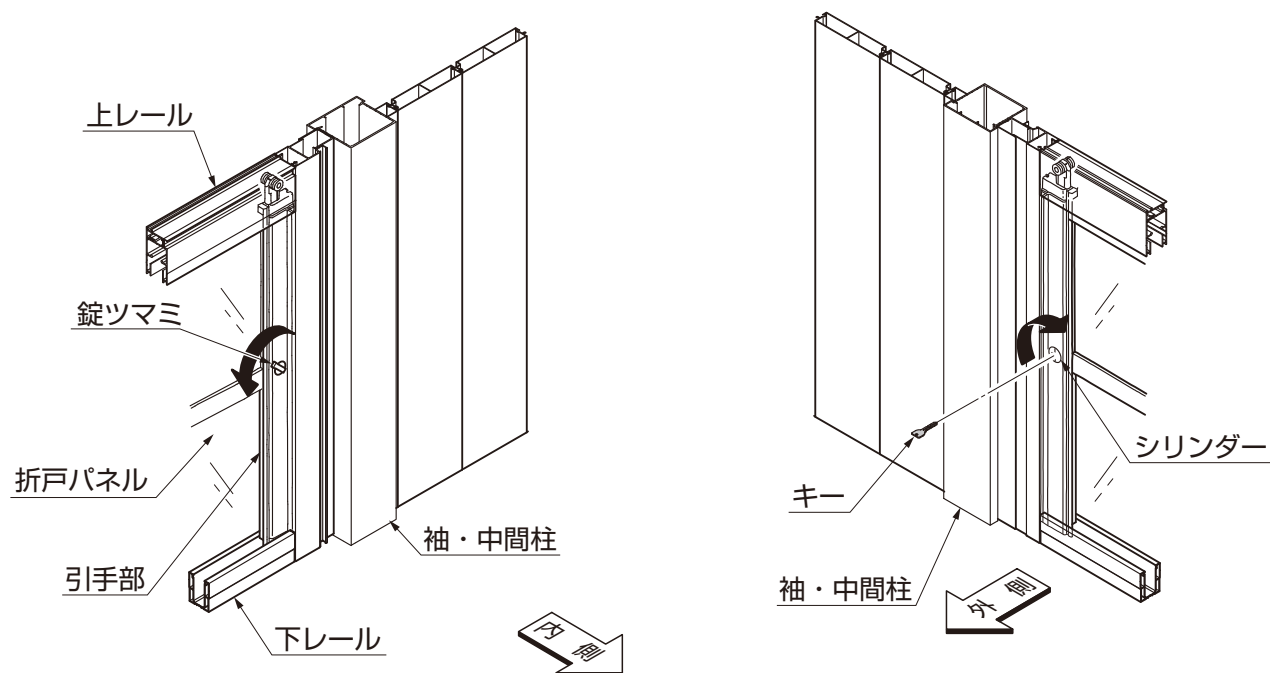
⚠ 注意

- ロックパネルの開閉には、ツマミを上下にスライドするように操作してください。回転などの操作で、ツマミが破損するおそれがあります。

✎ 補足

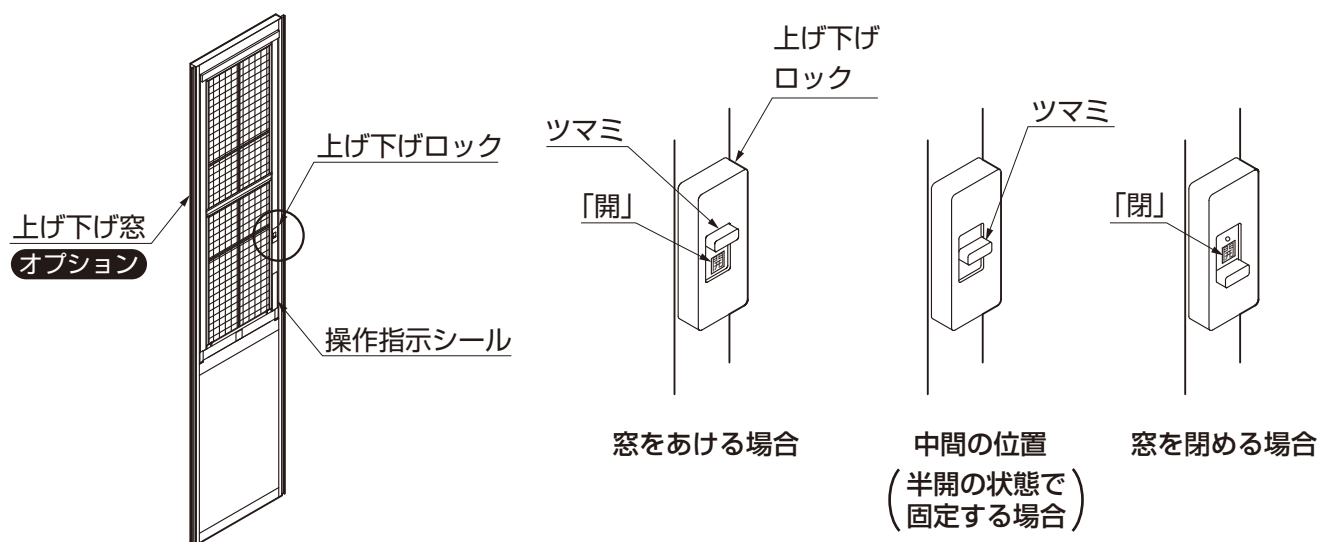
- ロックパネルは、最後尾の1セットまたは2セットの折戸パネルについています。

(3) 錠の操作方法



- ①引手部に付いている錠ツマミを反時計方向へまわして施錠します。
キーで施錠する時は、時計方向へまわします。

3 - 12 上げ下げ窓の操作方法（オプション）



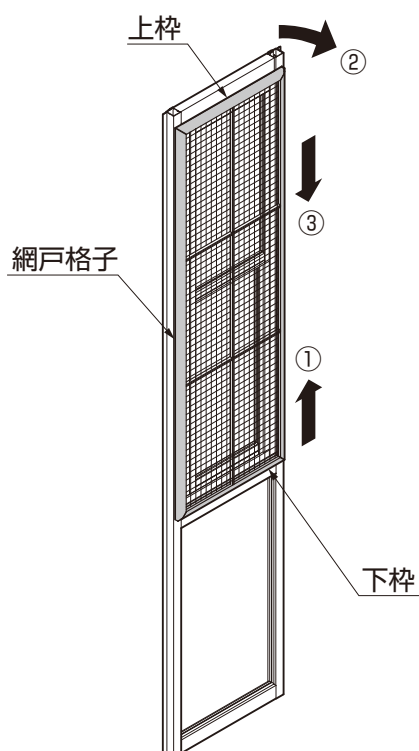
- ①上げ下げ窓の操作を行なう場合は必ず、上げ下げロックのツマミを一番上「開」の位置まで持ち上げて操作を行ってください。
②半開の状態で固定する場合は、上げ下げ窓を全開にしてから上げ下げツマミを中間の位置にし、ゆっくり窓を下げていくと半開状態の固定位置で窓がロックします。
③再び開閉操作を行なう場合は、ツマミを「開」の位置にし操作してください。

補足

- 上げ下げ窓のロックは全閉時と半開時に固定できます。上げ下げロックの下にある操作指示シールを参照し、操作を行ってください。

3-13 上げ下げ窓・網戸格子の脱着（オプション）

（1）取外し方法

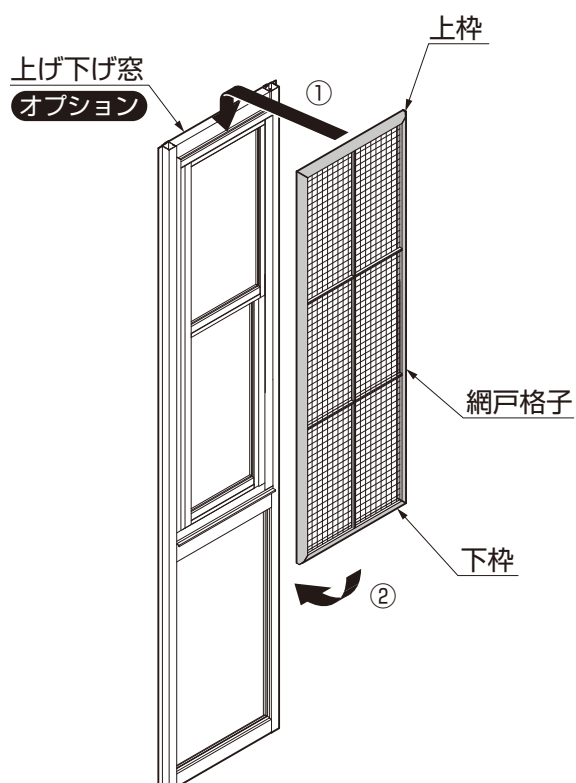


- ① 網戸格子の下枠を持ち上げます。
- ② 網戸格子の上枠を手前に引きます。
- ③ 網戸格子を下げ、下枠をはずします。

補足

- 上げ下げ窓と網戸格子が斜めにならないように注意してください。

（2）取付け方法



- ① 網戸格子の上枠をパネルに引っ掛けます。
- ② 網戸格子の下枠をパネルに押し付けます。

補足

- 上げ下げ窓と網戸格子が斜めにならないように注意してください。

3 - 14 ご注意とお願い

⚠ 注意

- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的としてみだりに改造、変更はしないでください。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- ボルト、ナット、ネジ等は絶対にゆるめないでください。
- 年1回程度の定期点検を行ない、ネジ・ボルト類のゆるみを締め直してください。オプションも同様です。
- シャッターを運転中に反転する場合は、一度停止してから任意の方向に操作してください。無理に反転すると故障の原因になります。
- 無用な連続開閉運転をしないでください。発熱して開閉機が自動停止します。また、故障の原因になります。
- 停電時の操作ハンドルは、確実に引いてください。
- 停電時の手動操作は、ゆっくり確実に行なってください。乱暴な操作は故障の原因になります。
- 停電時の手動操作は、シャッターの一方の端部だけを持って開閉操作をしないでください。シャッターが片寄って作動不良の原因になります。
- シャッターを無理に引っ張ったり、押し上げたりしないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になります。
- 冬季、アルミシャッター表面に付着した水分が凍結した場合、必ず溶けてから開閉操作をしてください。無理な作動は故障や破損の原因になります。
- 錠は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことができません。
- 錠穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。スムーズに動かなくなったら、シリンダー専用潤滑剤を錠穴に注入してください。油や市販の合成潤滑剤は、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
- パネルの近くに物を吊さないでください。強風時および開閉時にパネルに当たり、破損の原因になります。
- 雪下ろしの際、金属製スコップ等を使用すると屋根材が割れたり、キズが付く原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行なってください。
- パネルに火を近づけないでください。
- 内部で暖房器具、バーベキューコンロを使用しないでください。部材が変形・破損するおそれがあります。
- 開閉時や操作時に異常（がたつき、異音、重い、固いなど）を感じた場合は、ご使用を中止し、お取り扱いの建築会社、施工店、工務店、販売店または当社お客様相談センターにお問い合わせください。

お願い

- 製品に関する移設、増設などは、お買い求めの工務店・販売店にご相談ください。
- 単機能リモコンをそのまま車のダッシュボードなど高温になるところに放置しないでください。変形や故障の原因になります。単機能リモコンは直射日光のあたらない場所に保管してください。
- 単機能リモコンをズボンの後ポケットなどに入れないでください。単機能リモコンが破損するおそれがあります。
- 単機能リモコンに水をかけないでください。故障の原因になります。
- シャッターは少なくとも1ヶ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
- 故意にシャッターボックス内に水をかけないでください。電子部品や駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。

お願い

- ガイドレール内部は常に清掃し、異物などがないようにしてください。誤作動の原因になります。
- 電波の強い地域では正常に作動しないおそれがあります。あらかじめご了承ください。
- シャッターのそばでトランシーバーなどの無線機は使用しないでください。正常に作動しないおそれがあります。
- シャッターのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。正常に作動しないおそれがあります。
- キーはメーカー純正のものを使用してください。
- 地域・気候・使用状況などによっては、屋根材やパネルに結露が発生します。結露水が落ちる場合がありますので、その付近には電気製品やソファ等、濡れては困る物を置かないでください。

補足

- シャッターを閉めた状態でもスラットの内側が濡れることがあります。スラットの表面に横向きの風雨が当たった場合、スラットの表面から内側に水が伝わるためです。
- スラットの表面が雨などに濡れていると、開閉後にスラットの内側に水滴が付くことがあります。シャッターを巻き上げると、スラットの表面と内側が重なるため表面についた水が内側に付くためです。
- シャッターは開閉途中で引っ掛かるような動きをすることがありますが、電動モーターの出力とシャッターのスラット重量を、巻取り軸に内臓のスプリング力でバランスを取りながら開閉するという製品の特性上発生します。
- スラットの構造上、特性としてたわみ量が大きくなりますが、耐風圧強度は外れ止め構造により十分な性能を有しています。風でスラットがたわむことがありますのでご注意ください。
- シャッターを閉めても各部のすき間から外の光が入ることがあります。
- シャッターを閉めた状態で強風によりスラットがバタツキ、音がすることがありますが異常ではありません。
- スタイルコート内部を部屋として使用することはできません。部屋のような水密性・気密性はなく、パネル、シャッターを閉じた状態でも雨水が入り込むことがあります。



4 スマートフォンアプリ「My Window」について

4-1 スマートフォンアプリ 「My Window」 のインストール

- 専用アプリ「My Window」をインストールすると、お手持ちのスマートフォンで、シャッターを開閉したり、開閉状態を確認することができます。

「My Window」でシャッターを直接動かす場合は「My Window」の設定画面にて「変換アダプタ使用」を「OFF」にしてからご使用ください。「OFF」にしない場合「My Window」の信号を受け付けなくなってしまうます。

「My Window」の設定についてはP.31を参照してください。



専用アプリ「My Window」

二次元バーコードを読み取りダウンロードページにアクセスできます。
アプリストアから検索する場合は「My Window」と検索してください。



- ※App Store、App Storeロゴは、Apple Inc.のサービスマークです。
- ※iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または、登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ※Google PlayおよびGoogle Playロゴ、Androidは、Google LLCの商標です。

■アプリケーション動作環境

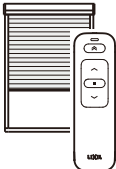
	OSバージョン
iOS	10以上
Android	6以上

- ※利用規約をよくお読みになり、ご了解のうえでご使用ください。本アプリはスマートフォン向けの専用アプリです。PCなどには対応しておりません。
- ※すべてのスマートフォンに対して動作を保証するものではありません。アプリの利用については、機種・OSまたはアプリのバージョン等により動作が不安定になることや、動作しない場合があります。また環境(ほかのインストールアプリ、ご使用中の周辺機器、本体の設定内容など)により影響を受ける場合があるため、動作の完全な保証はできないことをご了承ください。

お願い

- My Windowアプリ起動時は、開閉状態が確認できるまで約10秒ほどかかる場合があります。開閉状態が確認できない場合は、シャッターと通信ができる位置で、ホーム画面を下にスワイプし更新してください。
- My Windowアプリの操作画面で開閉状態を確認する場合は、シャッターと通信ができる位置で、停止ボタンを押して更新してください。
- My Windowアプリを複数台のスマートフォンで同時に立ち上げないでください。シャッターが誤作動する場合があります。
- My Windowアプリで開閉操作を行った後は、必ずアプリを閉じてください。シャッターが誤作動する場合があります。

4 - 2 単機能リモコン、スマートフォンアプリ「My Window」でできること

	付属の単機能 リモコン	追加オプション 単機能リモコン	「My Window」 OS : iOS	「My Window」 OS : Android
			iOS	Android
シャッター登録可能台数	—	10 台	(24台)※1	(24台)※1
開閉操作	○	○	○	○
メモリ位置登録	○	○	×	×
メモリ位置操作	○	○	○	○
品種番号選択 (個別操作)	×	×	○	○
シーン操作 (一斉操作)	×	○	○	○
停電後復帰操作	○	○	×	×
異常解除操作	○	○	×	×
リモコン・アプリの登録解除	×	○	○	○

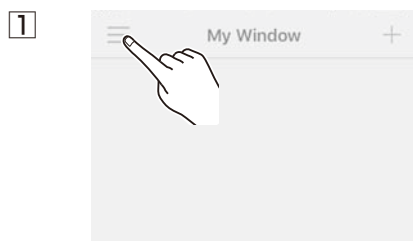
- ・スマートフォンの種類、機種によっても電波の届く範囲が異なります。電波の届く範囲でご使用ください。
 - ・スマートフォンアプリ「My Window」ではメモリ位置の登録はできません。登録する場合は同梱リモコンをご使用ください。
 - ・停電後復帰操作、異常解除操作はスマートフォンアプリ「My Window」ではできません。同梱リモコンもしくは追加リモコンで操作してください。
 - ・スマートフォンアプリ「My Window」では、スマートフォン2台を同時に使用することはできません。操作したい場合、シャッターと接続している他のスマートフォンアプリ「My Window」を閉じてからご使用ください。
- ※1 登録は24台までできますが、シーン操作では操作できる台数が変わります。詳細はP.41を参照ください。
- ・登録は24台までできますが、シャッターと電動窓合わせて24台です。

4-3 シャッターの登録について

(1) 設定確認

※iOSを例に説明します。

スマートフォンアプリ「My Window」でシャッターと登録を行う前に設定確認をしてください。



「My Window」を立ち上げてホーム画面を表示します。画面左上のメニューボタンをタップします。メニュー画面が表示されます。



メニュー画面の「設定」をタップします。設定画面が表示されます。



「変換アダプタ使用」がOFFになっていることを確認してください。画面左上「×」ボタンをタップしメニュー画面に戻ります。



メニュー画面を左にスワイプしホーム画面に戻ります。

(2) シャッター登録

※iOSを例に説明します。

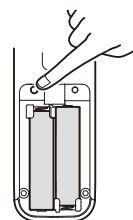
※1台のシャッターに、スマートフォン最大6台まで登録できます。

スマートフォンアプリ「My Window」でシャッターを操作するには、シャッターと登録する必要があります。



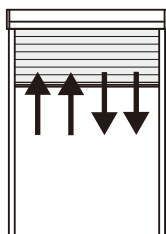
付属の単機能リモコンと「My Window」をインストールしたスマートフォンを準備します。

単機能リモコン



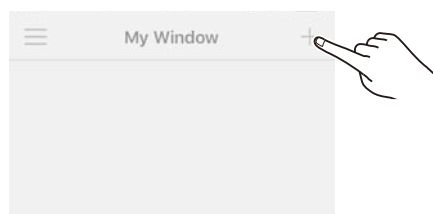
付属の単機能リモコンの電池フタを開け、左側のペアリングボタンを5秒以上押し続けます。10秒以上は押し続けなくてください。
※5秒経過しないうちにペアリングボタンを離してしまった場合、もしくは10秒以上押し続けてしまった場合は、2分経過してから再度行ってください。

3



5秒経過後にシャッターが小さく上に2回、下に2回作動したらペアリングボタンを離します。ペアリングモードに入ります。

4



スマートフォンアプリ「My Window」を立ち上げ、右上の「+」ボタンをタップします。

5



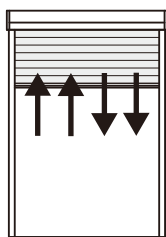
登録可能なシャッターが表示されます。登録したいシャッターをタップしてください。

6



登録確認画面が出ますので「ペアリング」をタップします。Android端末の場合「ペアリングの要求」画面が表示されません。画面右上の「保存」をタップしてください。タップしてペアリングが完了するとシャッターが小さく上下に動きます。
※iOS端末で登録確認画面が出ない場合には P.37を参照してください。

7



シャッターが小さく上に2回、下に2回動きます。

8



画面右上の「保存」をタップします。登録が完了します。
※標準・耐風タイプの操作画面が表示されます。

9



ホーム画面に登録したシャッターが表示されます。表示されているシャッターをタップすると操作画面が表示されます。

10

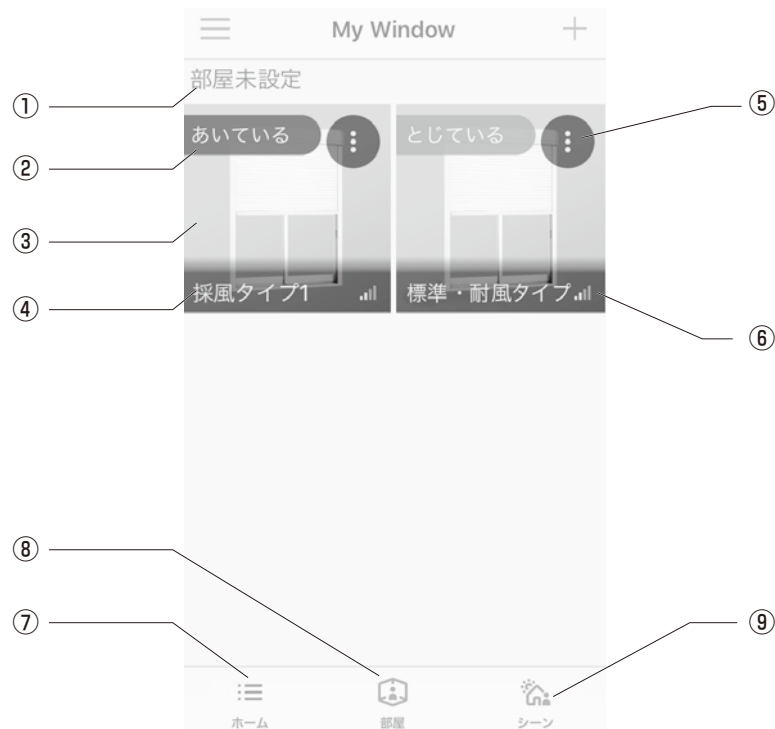


操作画面は登録したシャッターにより自動で標準・耐風タイプの操作画面が表示されます。

4 - 4 スマートフォンアプリ「My Window」の画面について

(1) ホーム画面について

●シャッターとの登録が完了するとホーム画面に登録したシャッター一覧が表示されます。

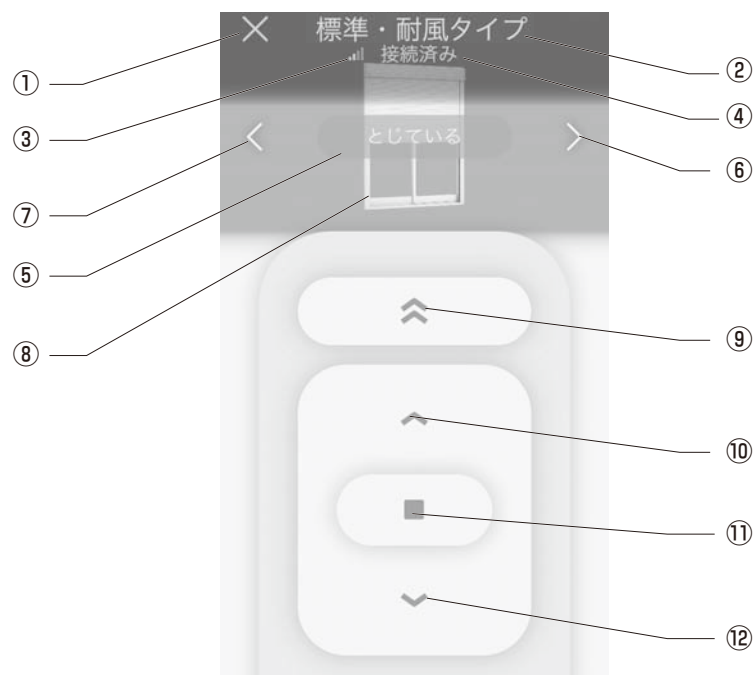


番号	名 称	説 明
①	部屋名	部屋名を表示します。任意の名前を登録できます。
②	状態表示	シャッターの開閉状態が確認できます。
③	背景画像	任意の写真を登録できます。 ※スタイルコートの場合、背景画像が窓シャッターになりますので、窓シャッターと区別したい方は背景画像の変更をおすすめします。
④	名称表示	任意の名称を登録できます。 ※スタイルコートの場合、名称が「標準・耐風タイプ」となりますので、窓シャッターと区別したい方は名称表示の変更をおすすめします。
⑤	オプションボタン	編集や削除ができます。
⑥	電波表示	電波の強さが表示されます。
⑦	ホームボタン	ホーム画面に戻ります。
⑧	部屋ボタン	部屋名を登録する場合に使用します。
⑨	シーンボタン	複数台シャッターを一斉に操作できます。

(2) 操作画面について

■標準・耐風タイプ操作画面

※スタイルコートの場合、標準・耐風タイプの操作画面が表示されます。



番号	名 称	説 明
①	×ボタン	タップするとホーム画面に戻ります。
②	タイトル	シャッター名を表示します。
③	電波強度	電波強度を4段階で表示します。
④	接続状態	シャッターとの接続状態を表示します。
⑤	開閉状態	開閉状態を表示します。
⑥	右矢印	登録順で1つ後のシャッター操作画面が表示されます。
⑦	左矢印	登録順で1つ前のシャッター操作画面が表示されます。
⑧	シャッター画像	任意の写真を設定できます。
⑨	メモリ位置ボタン	登録した任意の位置まで作動します。
⑩	ひらくボタン	シャッターが上昇します。
⑪	とめるボタン	シャッターが途中停止します。
⑫	とじるボタン	シャッターが下降します。

4 - 5 スマートフォンアプリ「My Window」の操作のしかた

(1) 開・停止・閉操作のしかた



(2) メモリ位置操作のしかた

※メモリ位置の登録は、付属のリモコンで行ってください。



●メモリ位置ボタン⑨をタップするとシャッターは登録された位置まで作動します。

(3) 登録解除のしかた

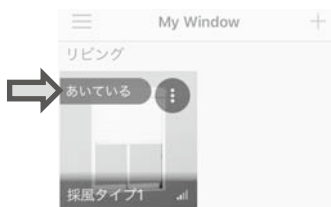
- 「My Window」とシャッターに登録されている登録情報を削除します。
シャッターとの状態表示を確認し接続状態にしてから実施してください。

1



ホーム画面で状態表示を確認してください。「情報取得中」表示の場合は実施しないでください。

2



接続状態「あいている」「とじている」表示の時に実施してください。

3



ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。

4



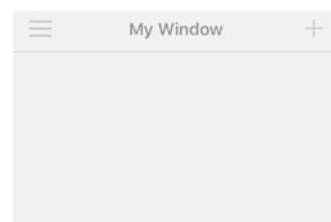
確認画面が表示されますので「削除する」をタップします。

5



確認画面が表示されますので「削除」をタップします。

6



ホーム画面から登録されていたシャッターが削除されます。

(4) スマートフォンのBluetooth® 解除方法

●iOSの場合、スマートフォンアプリ「My Window」でシャッターとのペアリング解除を行った場合、スマートフォンにBluetooth®の接続情報が残ります。

この場合、再び同じシャッターにペアリングを行うとペアリングできませんので、スマートフォンのBluetooth®解除を行ってください。

Androidは、スマートフォンにBluetooth®の接続情報が残っていても同じシャッターにペアリングができます。

※iOSを例に記載します。

1



「設定」をタップします。

2



「Bluetooth®」をタップします。

3



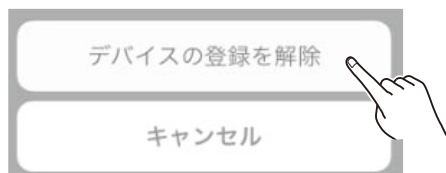
シャッターの接続情報が残っていると「LIXIL SHUTTER」と表示されます。情報を消したいシャッターのinfoボタン「①」をタップしてください。

4



「このデバイスの登録を解除」と表示されますのでタップしてください。

5



確認画面が表示されますので「デバイスの登録を解除」をタップしてください。

6



解除すると画面から「LIXIL SHUTTER」の表示が削除されます。

4-6 スマートフォンアプリ「My Window」の操作画面の編集について

(1) シャッター画像の編集

●ホーム画面、操作画面のシャッター画像の編集ができます。

1



ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。

2



確認画面が表示されますので「編集する」をタップします。

3



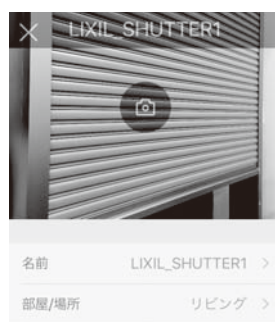
編集画面が表示されます。カメラマークをタップします。

4



確認画面が表示されますので「カメラで撮影」をタップするとその場で撮影した写真が反映されます。「フォルダから選択」をタップすると保存されている写真から選択できます。

5



編集画面のシャッター画像が変わります。左上の「×」ボタンでホーム画面に戻ります。

6

ホーム画面



操作画面



ホーム画面および操作画面のシャッター画像が変わります。

(2) タイトルの編集

●ホーム画面、操作画面のタイトルの編集ができます。タイトルを編集するとこのシャッターかがわかりやすくなります。

1



ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。

2



確認画面が表示されますので「編集する」をタップします。

3



編集画面が表示されます。「名前」欄をタップします。

4



名前編集画面が表示されます。任意の名前を入力します。

5



名前を入力したら「完了」をタップします。

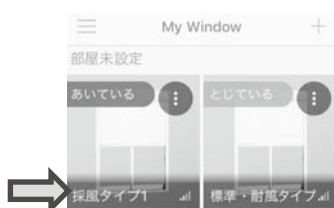
6



編集画面の「名前」欄の名称が変わります。

7

ホーム画面



操作画面

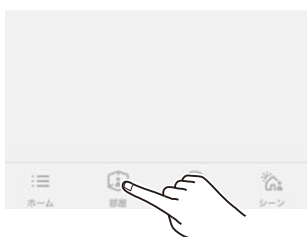


ホーム画面、操作画面のタイトルが変わります。

(3) 部屋名の編集

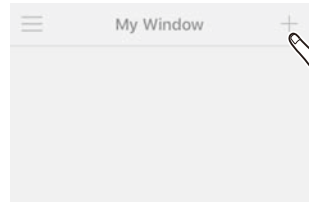
●登録したシャッターに部屋名が登録できます。「ガレージ」など設置場所等がわかりやすくなります。

1



ホーム画面下側にある「部屋」ボタンをタップします。

2



部屋編集画面が表示されます。右上の「+」ボタンをタップします。

3



部屋名編集画面が表示されます。任意の名前を入力し「OK」をタップします。

(3) 部屋名の編集 (つづき)

4



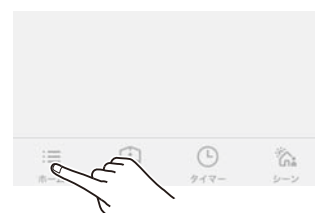
部屋編集画面に登録した名前が表示されます。

5



再度編集や削除がしたい場合はオプションボタンを押してください。

6



画面下側のホームボタンからホーム画面に戻ります。

7



ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。

8



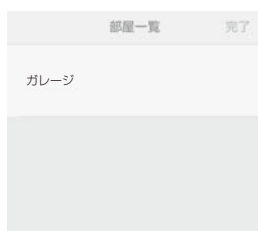
確認画面が表示されますので「編集する」をタップします。

9



編集画面が表示されます。「部屋/場所」欄をタップします。

10



部屋一覧画面に「部屋」ボタンから登録した名前が表示されます。

11



登録した名前をタップするとチェックマークが付きます。

12



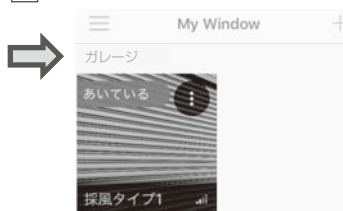
画面右上の「完了」ボタンを押します。編集画面に戻ります。

13



編集画面の名前欄の名称が変わります。
左上の「×」ボタンでホーム画面に戻ります。

14



ホーム画面の「部屋名」が変わります。

4-7 スマートフォンアプリ「My Window」のシーン登録、操作について

■シーンについて

- シーン操作とは、帰宅時に家中のシャッターを全て開ける、外出時に家中のシャッターを閉めるなど暮らしのシーンに合わせてシャッターを一斉に操作することができる機能です。シーン操作では登録した複数のシャッターをワンタッチ動作させるための設定ができます。

シーン	動作
おはよう	登録したシャッターをすべて開ける
おやすみ	登録したシャッターをすべて閉める
雨	登録したシャッターをすべて閉める
日よけ	登録したシャッターを半分閉める※

※半分閉めるではメモリ位置登録が必要です。
メモリ位置登録方法はP.13をご確認ください。

(1) シーン登録

- シーン操作(シーン登録したシャッターの一斉操作)するために登録を行います。Bluetooth®で直接シャッターを操作する場合は、1シーンで最大7台までです。ご使用のスマートフォンのBluetooth®利用状況により、同時接続できるシャッターが減少します。スマートフォンの機種、種類により最大同時接続数が異なります。電波の到達距離はスマートフォンの種類、機種によっても異なります。



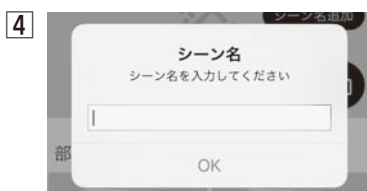
ホーム画面下側にある「シーン」ボタンをタップします



シーン登録画面が表示されます。画面右上の「+」ボタンをタップしてください。



シーン追加画面が表示されます。画面右上の「シーン名追加」をタップします。



シーン名 編集画面が表示されます。おはようなどの名前を登録してください。「OK」ボタンをタップしてください。



シーン追加画面でシーン名が登録した名前に変わります。



シーン写真を変更します。カメラマークをタップしてください。



確認画面が表示されますので「カメラで撮影」をタップするとその場で撮影した写真が反映されます。「フォルダから選択」をタップすると保存されている写真から選択できます。



シーン追加画面にシーン写真が表示されます。



シャッターの動きを登録します。登録したいシャッターをタップしてください。

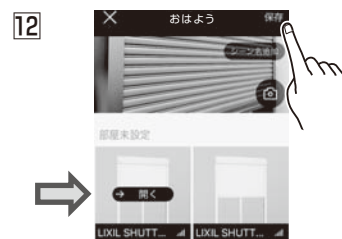
(1) シーン登録 (つづき)



シャッターの動きを選択します。



選択した動きの欄にチェックマークが付きます。画面右上の「完了」ボタンをタップします。

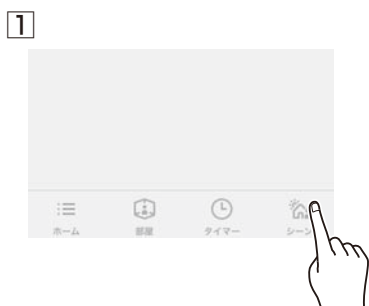


登録したシャッターに動きが表示されます。追加登録したいシャッターを同じように登録します。最後に画面右上の「保存」ボタンをタップします。

(2) シーン操作

●シーン登録したシャッターを一斉に操作することができます。

電波の到達距離はスマートフォンの種類、機種によっても異なります。電波の届かないシャッターは作動しません。かならず電波の届く範囲で操作してください。



ホーム画面下側にある「シーン」ボタンをタップします。



シーン登録済のシーン名が表示されます。



操作したいシーン名の下に「実行」をタップします。



確認画面が表示されますので「実行」をタップしてください。シャッターが作動します。

■別のシーン操作方法



シーン登録画面に表示されているシャッターをタップすると操作画面が表示されます。



「実行」をタップしても同じように操作ができます。

(3) シーンの編集・削除



登録の編集、削除はオプションボタンから行ってください。

5 動画一覧表 シャッターの設定・調整

①名称 ②目的・説明

1

- ①単機能リモコンの説明
- ②単機能リモコン各ボタンの説明



2

- ①単機能リモコンの追加登録
- ②追加オプションリモコンを登録する方法



3

- ①メモリ位置登録、操作
- ②メモリ位置登録、操作方法



4

- ①単機能リモコンの登録解除方法
- ②受信機、リモコンを同時登録解除する



5

停電時開閉機構の使い方		停電時開閉機構の使い方		
①	停電時開閉機構使用後の単機能リモコンでの復帰方法	②	停電時開閉機構使用後の単機能リモコンでの復帰方法	

6

異常解除方法



7

- ①スマートフォンアプリの登録方法
- ②スマートフォンアプリ「My Window」とシャッターの登録方法



8

- ①スマートフォンアプリの操作方法
- ②スマートフォンアプリ「My Window」の操作方法



9

- ①スマートフォンアプリの解除方法
- ②スマートフォンアプリ「My Window」とシャッターの解除方法



10

初期設定
(上下限位置の設定方法)



6 点検とお手入れ

6-1 シャッターの点検

- シャッターは少なくとも1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。

- シャッターを安全にご使用いただくため
右記の点検を行なってください。
点検を行なって、作動不良や異常がありましたら、お買い上げの販売店(工事店)または、「お客様相談センター」にご連絡ください。

番号	点検部分	点検内容
1	ガイドレール部 スラット部	作動がスムーズに行なえないようなキズや曲がりなどの変形、異常な音はないか確認してください。
2	プレッシャーリターン センサーの作動	プレッシャーリターンセンサーが作動するか、本章の点検手順にしたがってください。
3	停電時開閉	P.20「停電時開閉機構の使い方」にしたがい、手動で開閉できるか確認してください。

⚠ 注意

- プレッシャーリターンセンサーの点検を行なう場合は、必ず「6-2 プレッシャーリターンセンサーの作動点検」の手順にしたがってください。本手順にしたがわない場合、事故のおそれがあります。

6-2 プレッシャーリターンセンサーの作動点検

⚠ 注意

- プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。
シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたらリモコンのとめるボタンを押して、ただちにシャッターを停止させ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障のおそれがあります。負荷を検出させた場合は、必ず上限もしくは下限まで作動させてください。

※シャッターの初期設定完了後に実施してください。

- ①シャッターを全開にしてください。

- ②下枠中央に高さ300mm程度の固い物を置いてください。

※開口上部で実施しないでください。スラットの巻きだるみが発生し、スラットが破損する場合があります。

- ③リモコンのとめるボタンを押してください。

→シャッターが下降します。

- ④シャッターが固い物に当たり、下降が停止し自動的に上昇して全開で停止します。

※反転上昇中にとめるボタンを押してシャッターを停止させた場合、次の操作はとめるボタンを押してもシャッターが開方向へ作動します。そのまま全開まで作動させることで正常に復帰します。

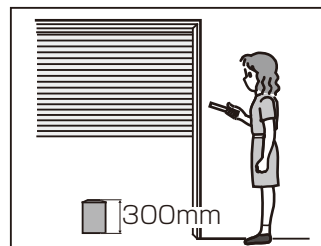
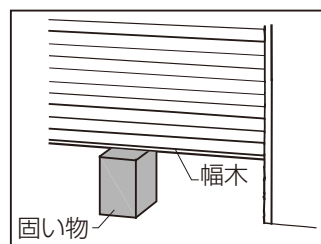
- ⑤シャッターが全開停止していることを確認してから下枠の上の固い物を取り除いてください。

- ⑥シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店または当社お客さま相談センターへ連絡してください。

→シャッターの下降が停止しない。

→シャッターが自動的に上昇しない。

※障害物検知後は一時的にシャッターの開閉スピードがゆっくりになりますので、あらかじめご了承ください。
全開もしくは全開位置まで動作した後は、通常のスピードに戻ります。



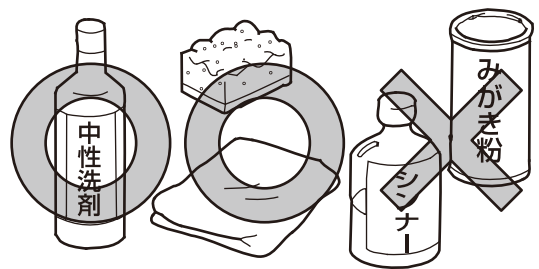
6-3 お手入れについて

(1) お手入れのしかた

- 「ガレージシャッター」はアルミニウムで作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などは、シミ、腐食、作動不良などの原因になりますので汚れに応じて定期的に掃除してください。
- 「ガレージシャッター」ガイドレール内部は常に清掃し、異物などがないようにしてください。作動不良や破損するおそれがあります。
- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面やガイドレール内部に付着した汚れは、シミ、腐食、作動不良などの原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも月に1回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お願い

- 「ガレージシャッター」のお手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ベラなどを使用しないでください。
- 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



- ①「ガレージシャッター」の表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを取除いてください。
- ②ガイドレール内部に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などをふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。



- ③以下の要領で汚れを落としてください。

■あまり汚れがひどくない部分

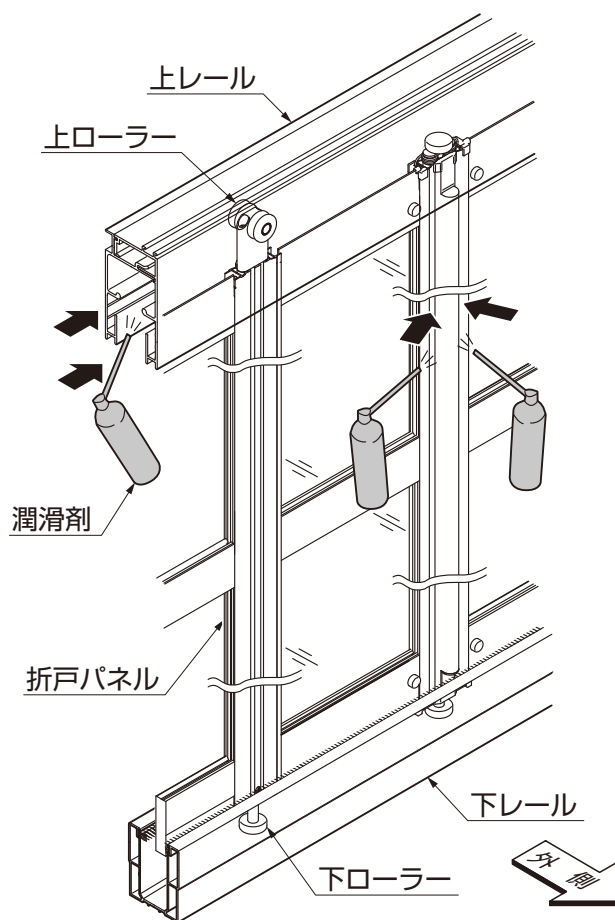
- ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。

■特に汚れがひどい部分

- うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。



(2) 折戸パネルのお手入れ

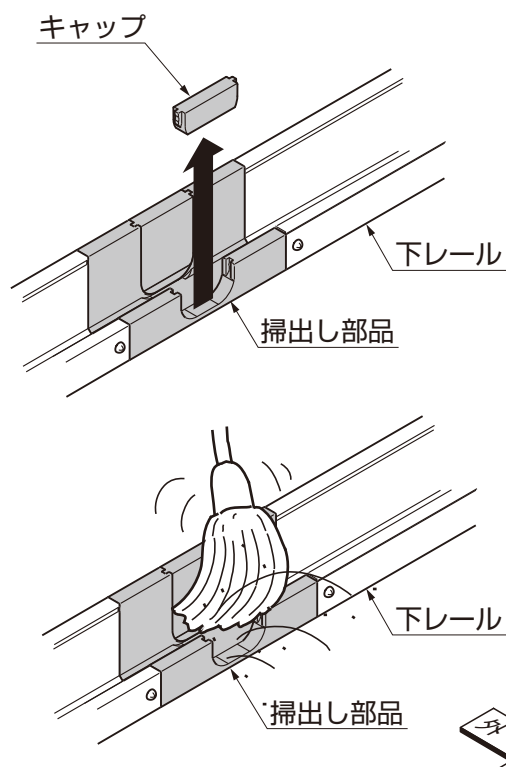


①折戸パネルの開閉がスムーズでなくなったときは、スプレー式潤滑剤（シリコン系）を各箇所（矢印部）に2～3秒吹き付けてください。

補足

- 必ずシリコン系潤滑剤をご使用ください。指定以外の潤滑剤を吹き付けるとローラーの割れの原因になります。

(3) 下レール溝内の清掃



①下レールの溝内にゴミ、小石などがつまって折戸パネルがスムーズに動かない場合は、定期的に清掃してください。

補足

- キャップを取外して掃出し部品から清掃できます。

(4) アルミ部、折戸パネルの清掃

- ①年に2～3回水洗いをして拭き取ってください。
- a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きをしてください。
 - b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭き取ってください。

お願い

- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。材料が変形したり、塗料がはげることがあります。
- 小石・砂などが付着したままでこするとアルミ表面にキズがつきます。あらかじめ取除いてください。

(5) カウンターテーブル、棚板(天然木) について

- ①木は自然素材のため、使用にさしつかえのない範囲で節があります。また、ソリやヒビが生じる場合がありますが、強度への影響はありません。
- ②木は自然素材のため、木目や色合い。木肌にバラツキがあります。
- 素材の色合いのバラツキによって、塗装後の製品も仕上がり色に差が生じますが。自然素材を生かした製品のためご理解をお願いします。
- ③塗装される場合は、木材保護着色塗料での塗装をおすすめします。塗装後は、木材保護着色塗料の変調に注意し、1～3年に1度再塗装してください。

(6) キズの補修

- ①あやまってアルミ表面にキズをつけた場合は、弊社の補修塗料（アルミ製品用）で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

7 修理を依頼する前に

- 故障かなと思ったときは、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときは、修理をご依頼ください。

このようなとき	点 検	処 置
シャッターが動かない	停電していませんか	停電が終わるまでお待ちください
	ブレーカーが落ちていませんか	ブレーカーをセットしてください
	停電時開閉機構ハンドルを操作して、手動状態のままになっていませんか	停電時開閉機構ハンドルを引いて、電動に切替えてください （「3-9 停電時開閉機構の使い方」参照）
	スイッチは確実に押しましたか	正しく操作してください （「3-4 操作のしかた」参照）
	ガイドレールに障害物はありませんか	障害物を取除いてください
	ガイドレール・スラットなどが変形していませんか	変形している場合はただちにシャッターの使用を中止し、販売店（工事店）または「お客様相談センター」へお問い合わせください。
	5分以上連続して開閉しませんでしたか	10～15分程度休ませてから開閉してください
	異常表示していませんか？	「3-7 異常表示の原因と解除のしかた」を参照してください
	単機能リモコンの電池が切れていませんか	電池を交換してください （「3-4 (2) リモコンの電池消耗時の表示について」参照）
	シャッターが凍結していませんか	凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください
	電池の向きを間違えていませんか	正しく取付け直してください
	実用到達距離の範囲外で操作していませんか	実用到達距離以内で操作してください
	無線機を使っていませんか	シャッターのそばで無線機は使用しないでください
	高周波ノイズの出る物が近くにありませんか	シャッターのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください

このようなとき	点 検	処 置
シャッターが途中で止まってしまう	ガイドレール内部にゴミ、ホコリなどが付いていませんか	ガイドレール内部を清掃してください（「6-3 お手入れについて」参照）
	開閉中に途中で止まってしまいませんか	「3-8 シャッターの上下限位置の設定のしかた」にしたがって設定してください
	全開・全閉時の停止位置がズレていませんか	
シャッターがワンタッチ開/閉できない	開閉ボタンを押し続けないとシャッターを開閉できない状態になっていませんか	
シャッターがとじるボタンを押しても開方向に動く	停電復帰などの異常復帰モードになっています	そのまま全開まで動かしてください
折戸パネルがスムーズに開閉しない	下レールの溝内にゴミや小石などありませんか	下レール溝内を清掃してください（「6-3 お手入れについて」参照）
	上ローラー・折戸パネルの滑りが悪くありませんか	上ローラー・折戸パネルに潤滑剤を吹付けてください（「6-3 お手入れについて」参照）
	積雪量が基準を超えていませんか	雪下ろしをしてください（「1 安全のために必ず守ってください」参照）

8 修理

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
- 修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店（工事店）または、「お客様相談センター」にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電 話 番 号	
施 工 店 名		そ の 他	

- 消耗品は寿命があり、有償修理となります。

9 別売り品

- 下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。
 - ・補修塗料（アルミ型材用）
誤ってキズをつけたときの補修にご利用ください。
 - ・木材保護塗料

10 仕様

電動部仕様

出 力	10 / 20Nm
定格電圧(電源)	AC100V(50 / 60Hz)
定格電流	1A(50 / 60Hz)
定格時間	5 分(20℃)
停電時の操作方法	停電時開閉機構の操作ハンドルを引き上げて、手動状態にしてシャッターを操作(※1)
単機能リモコン作動距離(※2)	20m(ただし、シャッターの設置場所や周囲の電波環境により変化します)
障害物感知装置	過負荷検知方式
電動使用条件	周囲温度：- 15℃～60℃(凍結時を除く) 周囲湿度：RH95%以下

補 足

- やむを得ず手動で開閉する場合以外は、電動で操作してください。(※1)
- リモコン送信機の実用到達距離は約 20m 以内ですが、周囲の環境で短くなることがあります。(※2)

スタイルコートL 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。
※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電 話 ()	

株式会社 LIXIL

- 1. 保証者**
株式会社LIXIL
- 2. 保証の対象者**
当該商品の所有者
- 3. 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
- 4. 保証内容**
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
- 5. 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間。ラッピングシートの“浮き”や“はがれ”およびそれに伴う“著しい変色”については5年間。)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注) 新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- 6. 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)。
- ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
- ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起る腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
- ⑨天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料いたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、下記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報の確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土日・祝日 9:00～17:00(コールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433

<https://www.lixil.co.jp/support/>

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

取説コード

UD096

JZZ616536H
200809A_1039
202411J_1048